夕刊
臺灣日日新報
一月十五日

大元帥陛下親しく拜謁仰付けらる

輝く光榮　海軍少尉候補生等

【東京電】大元帥陛下には十五日午前[illegible]各飛行諸學校を卒業大東亞戰下無敵荒鷲の中堅たる重責を[illegible]に洋上第一線への出陣を待機しつつある第七十一期各科少尉候補生等を宮中に召させられ親しく拜謁仰せつけられた、この日[illegible]候補生等は[illegible]前九時過ぎ宮中に參內[illegible]間において出御を御待ち申上[illegible]陛下を始め奉り光榮の各少尉[illegible]一同は[illegible]一時過ぎ宮中を退下した

日華提携、米英を擊滅

國府參戰　南支軍最高指揮官談

【廣東十四日發同盟】南支軍最高指揮官は十四日中國側記者團と會見、國府參戰に伴ふ時局の新展開に對する所信を披瀝して大要左の如く述べた

今回國民政府が米英兩國に對して宣戰を布告し[illegible]米英を東亞の天地より驅逐せんとして蹶起されたことは洵に慶賀に堪へない、過去一世紀に亙り東亞の禍根となつてゐた米英の暴戾不逞なる東亞政策を[illegible]大東亞を日本と協力して解放せんと志した孫文先生の大亞細亞主義もここに初めて其現實の段階に立到つたものであり、且つまた中國の運命と前途もここに新たなる發足を持つこととなつた[illegible]

東亞を愛する心・參戰

五中全會　汪主席訓示

【南京十四日發同盟】汪主席は十四日開會された五中全會の劈頭左の如き訓示を行つた

一、昨年十二月大東亞戰爭勃發するや我國民黨の同志は逸早く[illegible]

中國治外法權撤廢

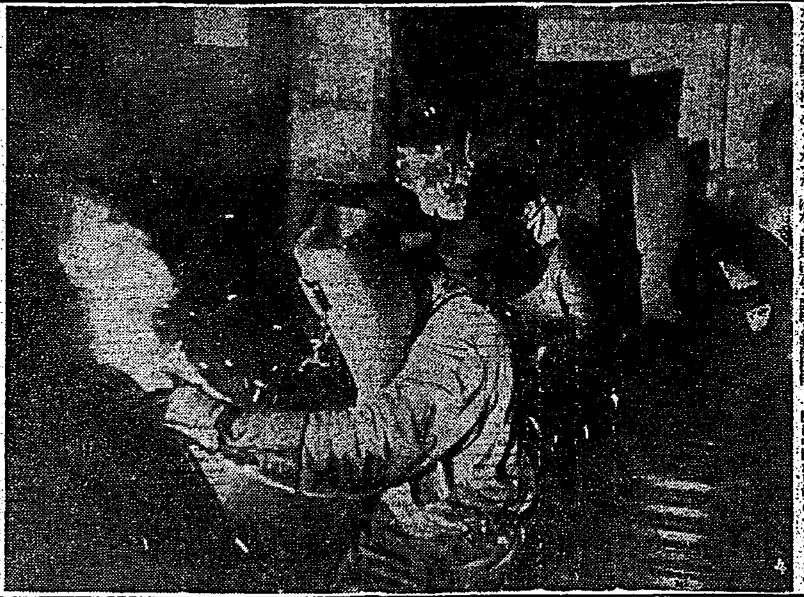
イタリア政府正式發表

【ローマ十四日發同盟】イタリア政府は中華民國に於ける自國の治外法權を撤廢する旨十四日午後正式に發表した

イタリア政府は一九二八年十一月二十七日國民政府との間に調印された[illegible]

盟邦の協力・滿腔感謝

【東京電】盟邦イタリアも帝國の新支那政策に全幅の協力を惜しまない[illegible]



決戰の構へ【四】鐵牛建造……ブーンと耳を聾する工場の音の中にパッパッと火花を散らして熔接作業があたりに白熱の光を投げる、鐵の車輪、鐵の無限軌道、鐵の車體、近代陸上戰の華戰車は鐵、鐵、鐵の逞しい鐵の構成だ、默々と作業に精進する產業戰士も逞しい鐵の意志だ【寫眞は戰車建造の熔接作業】……陸軍省檢閱濟

車機械化と戰力充實 （下）

我が精鋭、衆敵を擊摧

陸軍機甲本部第一課長陸軍大佐　角　建之

[illegible]

怒濤の

[illegible]

戰車を

[illegible]

第一線

[illegible]

精良な

[illegible]

ルーズベルト獨裁に眞向から反對論

不穩な米政界の雲行き

【リスボン十四日發同盟】[illegible]

相當の波瀾

[illegible]

批判的空氣

[illegible]

戰時施策檢討

[illegible]

第三黨運動

[illegible]

七獨總統と勃陸相會見

【ベルリン十四日發同盟】アントネスコ、ルーマニア首相に引續きブルガリア陸相ニコラ・ミシッフ將軍も十一日總統大本營にヒトラー總統を訪問し會見を遂げた[illegible]

內政部長會議　第二日

文相、劃期的學制改革說明

【東京電】道府縣內政部長會議[illegible]

一、戰時下思想指導に關する件

一、敎員の養成に關する件

一、中等學校敎科、工作及び家政科、家事敎科書に關する件

一、國語漢字に關する件

一、防空敎育組織の整備に關する件

[illegible]

定期敍位

【東京電】[illegible]

獨ソ兩軍死鬪展開

北コーカサス攻防戰

【ストックホルム十四日發同盟】[illegible]

赤軍の反擊力低下

【ストックホルム十四日發同盟】[illegible]

華北一億戰爭完遂へ

王委員長の放送

【北京十四日發同盟】[illegible]

メラウケ爆擊

反樞軸軍發表

【リスボン十四日發同盟】メルボルン來電=西南太平洋反樞軸軍司令部は日本軍航空部隊がメラウケ[illegible]

赤軍被五十四擊墜

【ベルリン十四日發同盟】[illegible]

森島公使近く歸國

【クイビシェフ十四日發同盟】[illegible]

トルコ議會解散

【イスタンブール十四日發同盟】[illegible]

荷造問題綜合調査

國鐵　全國的に資料蒐集

【東京電】鐵道省では最近陸運[illegible]

人事

▲[illegible]

▲[illegible]

敵國を征服した手

この手の奏でる超人的神技に全米はひれ伏した。放送に、演奏に、米國を浴びせた。樂聖の名曲は新たなる表現を得た！

ビクター盤

一平岡養一 アルバム第1輯

モーツァルト曲　小夜曲
グルリット　指揮
東京交響樂團

十二吋赤二枚組・￥8.44

ビクター
レコード

冬はあく迄健康に働きませう！

身嗜み整容は清新潑剌と……

レートクレーム

東京　平尾賛平商店

厚生省衞生試驗所檢定

有合事位出記されたる品で造すて力體各階層に互つて缺く事の出來ない力聞題すて悉しと云つて良いで造す

水產・林業の

ビタミンAD劑

ビタドール

製造發賣元　株式會社　林兼商店

エビオス

胃腸弛緩症

（消化不良
常習便秘
脚氣倦怠）

……に對し、エビオスの投與は豐富なビタミンB群の作用により、食慾、消化、便通の異狀を矯正するのみならず、全身的に榮養を佳良ならしめ、脚氣、倦怠などを矯正する

製造元　大日本麥酒株式會社
東京・大阪　田邊商店

EB1775

必勝へ一億火の玉
頼もしい獻金譜
陸海軍に寄せる島民の赤誠

今年こそは撃滅米英[illegible]の決意に燃え、いやが上にも必勝の信念を[illegible]め一億火の玉となつてあらゆる[illegible]に[illegible]んでゆかねばならぬ國民の決戦生活は既に力強く進められてゐるがこの[illegible]島民の[illegible]に[illegible]つて[illegible]を[illegible]ける島民男子への[illegible]、[illegible]化の[illegible]の赤誠献金ともなつてあらはれ日[illegible]化した[illegible]の[illegible]は陸海軍部に寄されてゐる、[illegible]、二ケ月[illegible]も兵[illegible]金を[illegible]する[illegible]、一[illegible]を[illegible]へば二[illegible]の[illegible]心を[illegible]した[illegible]金がある、最近のこの頼もしい献金[illegible]を陸海軍部に[illegible]げ[illegible]の[illegible]に[illegible]る[illegible]民の[illegible]献金に[illegible]る[illegible]してゐる[illegible]、[illegible]以来大東亜戦争の今日では献金[illegible]は[illegible]月の[illegible]を[illegible]して二[illegible]に[illegible]してゐる、時に[illegible]人[illegible]君の献金者が[illegible]して来たことは[illegible]はしい、[illegible]の献金[illegible]が多いのも注目される、その他ヨイコドモ達の献金[illegible]の[illegible]も見逃せぬ[illegible]しい事[illegible]だ、何にしても献金を通して全島民の赤誠の[illegible]が[illegible]るのは[illegible]ある[illegible]

安藤軍司令官
樋口參謀長、新竹へ

【新竹電話】臺灣軍司令官安藤[illegible]は十五日から十七日まで新竹市[illegible]附近に於て[illegible]される事となり[illegible]參謀長以下は十四日午後四時五十八分着列車で來新、自治會館に一泊した

全島刑務所長
けふ府正廳に會同

全島刑務所長會同は十五日午後二時より府正廳に於て[illegible]、中村高等法院檢察官長、稲田法務部長[illegible]刑務所長[illegible]、[illegible]の[illegible]に[illegible]の[illegible]一、二の[illegible]に[illegible]した

梁井知事一行
羅東郡下視察
篤農家を激勵

【羅東電話】臺北州地方[illegible]のため梁井知事一行は十四日午前八時四十分來羅、出迎への本田郡守、小池[illegible]、山下[illegible]

[illegible]の案内で二[illegible]に入り本田郡守、[illegible]、[illegible]並に[illegible]らに[illegible]の[illegible]を[illegible]を[illegible]に[illegible]して[illegible]の[illegible]を[illegible]し[illegible]は[illegible]「知事閣下の[illegible]を[illegible]しますし」と力強き[illegible]を述べ、それより篤農家[illegible]氏を訪問、知事は[illegible]の老人[illegible]氏の[illegible]を[illegible]いて

家族は何名ありますか、堆肥はどう云ふ有様ですか

と尋ねへば[illegible]氏は

血戦盛りの者が四人をります、堆肥も水田甲當り三萬斤の目標に對し三萬六千斤を造り上げました、又今後も銃後の[illegible]を[illegible]して食糧増産に努力する覺悟です

と[illegible]の[illegible]と[illegible]心を[illegible]したが[illegible]事は[illegible]な[illegible]の[illegible]ちであつた、それより[illegible]および[illegible]を[illegible]して[illegible]三[illegible]および[illegible]方面を[illegible]したが、[illegible]の[illegible]士は[illegible]も知事の[illegible]に[illegible]し今後一層[illegible]國民の[illegible]力を[illegible]げて[illegible]する事を[illegible]く[illegible]ひ[illegible]を一層[illegible]めるところがあつた、斯くて三日間に[illegible]る[illegible]羅東郡下視察を終り十二時宜蘭發列車で[illegible]した

暁の洋上を監視する海の勇士（海軍省許可濟第五七一號）

擧島・火と燃ゆ志願兵熱
適格者の九割が志願
好調辿る宜蘭郡の志願兵熱　宜蘭市は四割弱の低調

【宜蘭電話】宜蘭郡の志願兵志願者は第二日目で早くも適格青年の八割餘の志願者があつたが四日目の[illegible]は員山庄二、四三二名、壯圍庄一、八六八名、礁溪庄一、八二七名、頭圍庄三、〇六二名、計九、一七三名となりこれを適格青年數の一〇、九八二名に比すると九割強となるが出稼ぎ及び出寄留中のものを約一割と見るときは在郡の適格青年は殆ど志願し盡したものと見られるがそれに引かへて宜蘭市の志願者は[illegible]で適格青年數一、一五九名に對し四日目（十三日）迄の志願者は四六七名で漸く四割弱に達した程度である

全員志願に今ひと息
羅東郡の志願兵熱

【羅東電話】羅東郡下の志願兵志願熱は日と共に高潮に達し郡下總適格青年一萬二千餘名の中去る十三日迄の志願者數は一萬七百五十三名に達しその比率は適格青年の九割強を示し[illegible]息であるが、既に三[illegible]國民學校訓導[illegible]兵[illegible]（[illegible]）は「日の丸及び志願兵志願」五[illegible]庄三[illegible]國民[illegible]店員黄火熾（二〇）君は「日の丸及び[illegible]」「[illegible]兵」と日本[illegible]に血[illegible]して志願し「今[illegible]ど[illegible]」と[illegible]へる熱[illegible]に本田郡守、山下警察課長を感[illegible]

累計千十七名
新竹市けふ正午現在

【新竹電話】新竹市の志願兵志願者は十五日正午現在累計一千十七名となつたが各[illegible]での[illegible]が未だ手間取つて居る向もあるので十六日午後二時から各區長、[illegible]年團長を集め今一度[illegible]の[illegible]その他に就ての[illegible]を[illegible]る事となつた、之に依り十七日以後は更に一[illegible]志願者が[illegible]するわけである

基隆郡今一歩
で一萬を突破

【基隆電話】基隆市郡に於ける十四日午後五時現在の志願兵受付數は市[illegible]三十五名、郡八百十五名で[illegible]受付開始以來の合計總數は市七百七十名、郡九千七百八十七名で郡は受付開始後五日で早くも一萬を突破せんとする好調ぶりである

新竹州の志願
兵後期入所生
十九日臺北へ

【新竹電話】新竹州の第一次志願兵後期入所生五十九名は廿日の入所を間近に控へてゐるが州では十九日午前十時一同を招集、[illegible]

ヨイコドモの美談二つ

【新竹電話】少國民の美談二ラー その一　新竹國民學校四年生[illegible]弘君（一〇）外九名は十五日[illegible]校の途中[illegible]金町の空屋で本島人[illegible]三名が[illegible]中を發見附近の[illegible]官に屆け出で之が[illegible]に協力した

その二　同五年生[illegible]く[illegible]外八名は[illegible]の[illegible]を[illegible]め十[illegible]七十九錢となつたので十五日[illegible]兵金に獻金した、尚[illegible]町の[illegible]公學校でも[illegible]の[illegible]を行つて獻金した

在郷勤報隊訓練點呼
新竹州第二日

【新竹電話】新竹州下の在鄕勤行[illegible]の[illegible]第二日目は十五日午前八時半から新竹市新竹[illegible]で新竹市、新竹郡、竹東郡二百六十名に就て[illegible]、金子[illegible]務部長以下[illegible]官[illegible]され代表者の[illegible]あつて[illegible]より諸君は決意[illegible]下よく中核[illegible]青年の[illegible]を[illegible]して[illegible]錬成の先達たるべし

と訓示をなし[illegible]の如く[illegible]、分列等あつたが非常な好成績であつた

米英に宣戰の快報に湧く
廣東全市の感激繪卷
寫眞【上】は陳錦請公署主任の査閲を受ける中國陸軍の精鋭【下】は[illegible]要港部司令の査閲を受ける中國海軍の精鋭

[illegible]の[illegible]後、知事の[illegible]を受け兵事[illegible]査閲[illegible]引率の下に午後一時五十二分發臺北に向ふ

神職錬成講習會終る

[illegible]文教局では去る十一日から全島の神職約八十名を臺北市大宮町[illegible]出[illegible]神職[illegible]に集め[illegible]が講師となつて神職錬成講習會を[illegible]中のところ十五日多大な成果を收めて終了、午後一時から西村文教局長[illegible]の下に[illegible]式を[illegible]した

臺北刑務所教
誨堂落成式

臺北刑務所教誨堂の落成並に入佛式は十五日午前十時より[illegible]所[illegible]

海軍航空廠で
見習工員募集

[illegible]今回[illegible]總督府は[illegible]の[illegible]に依り將來[illegible]中堅工員として[illegible]の[illegible]に付くべき見習工員（三ケ年修業）第一回生の左記[illegible]に基く

重要機械類の増産
研究に新機關設置

【東京電話】技術院では[illegible]重要機械[illegible]を[illegible]とし技術院の外廓[illegible]たる[illegible]技術[illegible]發令[illegible]官民の有識者十數名を以て[illegible]委員會を設けこれが[illegible]の[illegible]に當る事になつてゐる、なほその下に必要に應じ[illegible]專門分科會が設置される事になつてゐるが第一回委員會は二月上旬[illegible]の[illegible]の見込みである、なほ本機關に於て取扱ふべき資料としては

一、新設計又は標準化すべき[illegible]の重要機械にしてその部分品圖面が各所に散在してゐるもの

二、既存或は新設計の重要機械にして量産のため設計圖面の[illegible]を要するもの

三、重要機械にしてその設計圖が特定者の所有に屬し活用の途を阻まれてゐるもの

四、輸入機械等であるが特に本年度に於ては主として工作機械、金屬加工機械、化學機械[illegible]等に重點が置かれることになつてゐる、本機關の運營に際しては各[illegible]會並に既存の設計[illegible]の[illegible]の活用を圖るためこれが連絡統一に[illegible]し[illegible]なる措置が講ぜられ[illegible]されてゐる、又技術院は[illegible]官廳と連絡の上[illegible]にこれが適切なる措置を行ふと共に必要ある場合は[illegible]内容についても[illegible]的に

必ずやるぞ一萬貫！
頼もしいお山の炭燒き一家

【新營電話】[illegible]たねばならぬ決戰二年目の銃後[illegible]の[illegible]として各[illegible]の訪れに

白雪隊を沒す

る山奥で[illegible]の[illegible]をたやすことなく、昨年は一人で九千貫といふ[illegible]の炭[illegible]日本[illegible]を作り今年は一萬貫[illegible]のだと[illegible]つてゐる山の戰士がある、昨十七年[illegible]九千貫の木炭を[illegible]いて[illegible]から表彰されたが今年は一萬貫を目標に[illegible]けの[illegible]三月までに三つの[illegible]を[illegible]するのだと[illegible]に名高い[illegible]の中[illegible]部[illegible]の[illegible]さん（[illegible]）さんは一[illegible]を行ひ[illegible]のめづさん（[illegible]）は五[illegible]歩の田地の耕作と自宅に近い山の中腹にある[illegible]の責任を引受けさせ

百六十貫の炭

を一[illegible]に[illegible]く一里半の山奥にある大[illegible]は[illegible]さん[illegible]世音[illegible]寺奥の[illegible]木山に造つた百四十[illegible]の[illegible]は長男[illegible]君（[illegible]）[illegible]に國民學校六年生[illegible]（[illegible]）の[illegible]は日[illegible]の[illegible]後にお手傳ひと[illegible]を[illegible]め炭[illegible]の伐出、背上げ、[illegible]から仕上までの全作業をやつての[illegible]けようと[illegible]り切つてゐる、此の[illegible]根付は[illegible]二十二[illegible]と云ふ[illegible]も[illegible]ら[illegible]ぬ[illegible]だが[illegible]に[illegible]まれて居り[illegible]さん一家は早朝四時に[illegible]を[illegible]ませ夜が明けるまでに

業場で使ふ炭

をたつた[illegible]を[illegible]む、六時になると[illegible]に出[illegible]、[illegible]になつて[illegible]き、日[illegible]を合圖に[illegible]するしかもその[illegible]途には[illegible]さんと[illegible]君が（[illegible]）方言の[illegible]に[illegible]炭[illegible]を[illegible]中一[illegible]に背負つて[illegible]るといふ[illegible]により[illegible]、夜は夜で[illegible]さんは[illegible]に[illegible]して[illegible]と云ふから[illegible]しい[illegible]の日も休まず[illegible]を[illegible]く[illegible]さんを[illegible]木山の[illegible]を訪れると元氣に[illegible]る

近く[illegible]が入營するのでそれまでに[illegible]が何でも一萬貫[illegible]かにや[illegible]お[illegible]まぬ、炭[illegible]だつて[illegible]も工夫も大切だ、そして一[illegible]大事なことは[illegible]つて[illegible]くことだ、[illegible]が多いからつて山は捨てられねえ[illegible]正月抜きで元旦には初[illegible]をやりました、どうしたら一[illegible]やけるかつて…それや言葉では説明出來ねえ、わしと一緒に仕事場に來れば[illegible]くわかりますよ

援助

を行ふ事になつてゐる、なほ本機[illegible]に[illegible]する[illegible]は本年度に於ては[illegible]二十[illegible]萬圓の見込みでありそれは[illegible]年、[illegible]部代[illegible]に[illegible]府[illegible]金に依る事になつてゐる

香港、大阪間
電報取扱開始

【香港十五日[illegible]】香港通信[illegible]では香港日本內地間直通電報取扱ひにつき[illegible]中であつたがいよいよ十五日より先づ香港、大阪間[illegible]

國旗の取扱に御注意
島都の國旗冒瀆事件等解決す

[illegible]決戰十二年目の新春を迎へて全國民一丸となつて必勝の[illegible]に[illegible]え立つてゐる折も折去る四日の早朝島都[illegible]の[illegible]で[illegible]の他[illegible]ケ所に不[illegible]な文字を[illegible]した事件が發生[illegible]同じくして同日朝[illegible]十數校を[illegible]に投げ込んだ國旗冒瀆事件が起り島都を騒がせたが臺北南署[illegible]で[illegible]に[illegible]を進めた[illegible]苦心の甲斐あつて遂に犯人を[illegible]し島都[illegible]の[illegible]を[illegible]と[illegible]件とも[illegible]の仕業と判明した、事件[illegible]生と同時に臺北南署では之を重大視し山下[illegible]長自ら陣頭に[illegible]つて[illegible]指揮に當り[illegible]等、內田司法主任を始め高等[illegible]、刑事[illegible]で犯人檢[illegible]に全力を擧げ夜をわかたぬ活動の結果[illegible]部長[illegible]、[illegible]、[illegible]等によつて[illegible]事件の犯人は元[illegible]ル[illegible]工場[illegible]工[illegible]口[illegible]部[illegible]等[illegible]部[illegible]（[illegible]）なる事を突止め[illegible]を[illegible]つて同人の行方を[illegible]中二日目の六日午前九時頃

泉町

淡水河[illegible]六水門外に立つた同人を本[illegible]部長、坂本[illegible]が[illegible]、岸[illegible]等[illegible]の手で[illegible]取調べを行つた結果、[illegible]犯人なる事を自供した、[illegible]は一昨年七月[illegible]淡[illegible]支局、[illegible]等に[illegible]工に就職したが同三十一日[illegible]されたもので多少[illegible]に異狀を來して居り思想的な[illegible]は認められない模様であり近く送局される、一方國旗事件は取調べの結果三日元始祭[illegible]日國旗を[illegible]出した[illegible]生に[illegible]の[illegible]なる[illegible]が[illegible]々判明之[illegible]、[illegible]で

連日

不休の[illegible]が[illegible]けられたが十三日[illegible]田部長、[illegible]、[illegible]三[illegible]が容疑者として川端町三五四[illegible]（[illegible]）を引致[illegible]取調べた[illegible]、[illegible]同人の仕業[illegible]自日しここに事件は[illegible]時日に解決された、同人も[illegible]に異狀を來して居り國旗を盗み持ち帰つた所[illegible]に[illegible]されたのでその[illegible]に[illegible]棄したものと判明したが、この事件に[illegible]しては國旗を[illegible]出した[illegible]に[illegible]があり日本國民として國旗に對する[illegible]の是正につき山下[illegible]長は左の如く全島民に警告を發してゐる

國旗が國體の表徴でありその取扱ひをおろそかにしてはならぬ事は

國民

たる者誰もが熟知してゐる所である、然るに國旗を[illegible]出した[illegible]朝[illegible]してあつたと云ふ事は[illegible]に[illegible]へない、國旗は日出から日沒時迄掲出すべきものであつて之は[illegible]にまつて頂きたいものである、今回の事件に於て[illegible]にあつた家庭で自發的に屆出た向きは一軒もなかつたのは甚だ心外でこの際島民各位の猛省を促したい

力強し建設の雄叫び
(一)中部ジャワの旅印象記

【ジャカルタにて太田同盟特派員發】日と共に進展するジャワの復興は最近愈々快調であるが、記者はこの實狀を視察するためこのほど[illegible]を[illegible]、[illegible]一行と中部ジャワ巡察を行つた、[illegible]一行を迎へて喜びに沸立つ住民たちは戸毎に日章旗をたて、たからかに叫ぶ萬歳の聲はあの町、この村にとよめいた、[illegible]朴な彼等の瞳は復興の歓喜に滿ち、感謝と信頼の中に平和な生活を營んでゐる、記者はこの視察[illegible]一行に[illegible]して廣大な沃野に多角的な耕作があり、緑[illegible]とそびえるスラマットの[illegible]があり、また山腹にいまも[illegible]る古代文化の跡や、スリンピー、ワヤンの舞踊藝術、バティック（ジャワ更紗）名產地である中部ジャワを旅すること五日、いまここにその印象記を綴つて銃後へ贈る

夜行列車は高原を行く

午後十時、ジャカルタ發の夜行列車に乘り込み、先づ南岸唯一の[illegible]港チラチャップへ向ふプリアンゲル州の高原をすぎ、西部ジャワを斜に横切つてチラチャップまで十[illegible]時間中、此あたり一帶はいま雨季であるが今宵は珍らしく月がかがやき、青白い光を椰子の葉に投げてゐる、[illegible]い[illegible]に[illegible]へてゐる、村の灯が[illegible]火のやうに車窓から[illegible]される、[illegible]のモーターのひびきがかすかに車内に流れ、ボーイが「お休みになる時はスキッチを切つて下さい、うつかりすると風邪をひきます」と親切に注意してくれる、A氏とジャワの鉄道[illegible]をはじめた、ジャワの鉄道が最初に敷設されたのはスマランからジョクジャカルタまで中部ジャワを南北に縦断する鉄道で、今から約七十五年前、我が國鉄より五年早く敷設されてゐるが、現在では日本に較べてその施設は二十年は劣つてゐるだらう、全島の延長約五千八百キロ、東西に走る山脈に沿つてをりトンネルの數は僅か八ツ、そのうち一番長いのがプリアンゲル州バンヂャル、チヂ[illegible]間にある一千百米で清水トンネルの約八分の一である、一般にジャワの鉄道は線路の補強工事がごく[illegible]なため振動が激しく寝臺車とはいへ[illegible]に目をさまし勝ちである、以前には[illegible]は[illegible]間だけに限られ大方列車は各[illegible]とも夜十時には[illegible]市に泊り、乘客はそこのホテルに一泊し、翌朝又[illegible]を續けるといふ不便な[illegible]だつた、夜行列車が出來たのは僅か四年位前のことである、日本のやうに夜行で目的地に行きその日に用をすませ、又夜行で帰つて來るといふ芸當は少し遠隔地になると以前は不可能であつた、その後夜行列車を最初に運転したのはジャカルタからバンドン、ジョクジャカルタを經てスラバヤに行く急行列車で[illegible]いスマートな一等寝臺車を連結し、速力も內地の普通急行程度で、蘭印政府が世界に[illegible]したものであり、ジャワにとつては非常に珍らしいものであつた然し急行とはいへこの[illegible]は[illegible]時間が不正確で、二十分、三十分の延着は[illegible]ど毎日のことで、乘客もこれにはすつかりあきらめて、不平もなかつたさうだ、この[illegible]最近はジャカルタ、スラバヤ間夜行急行が一般に利用されるやうに[illegible]

祭典に供物を運ぶバリ島島民の行列

た、ジャワの[illegible]道は[illegible]一本、[illegible]軌十一本よりなり互ひに血みどろな競爭を行ひ、この[illegible]は[illegible]相當な赤字に苦しんでゐたが民[illegible]事務所にある[illegible]所では貨物の輸送にコミッション付きでなければ絶對に引受けないといふ[illegible]り方で[illegible]を[illegible]用してゐたものだ、又[illegible]の[illegible]行に對しては[illegible]運賃でサービスするが、原住民が主として利用する三、四等には[illegible]末[illegible]は[illegible]用されてゐなかつたのである、その他[illegible]が十分でなく連絡が不圓滑で色々な點に不備があつた、然し[illegible]以來我[illegible]の[illegible]力により從來の[illegible]は殆ど一掃され、[illegible]の一元化、料金の改正、發着時間の正確保持、その他色々改良が加へられ今やジャワの[illegible]としてたくましく再出發するに至つたが、その[illegible]かな手際に原住民[illegible]は舌を巻いて驚いてゐる

蘭兵敗走のチラチャップ港へ

夜明け頃、汽車はカーオンガンテンといふ小さな驛をすぎた、南國の[illegible]は昇るに從つて椰子の林が朝[illegible]に映え[illegible]に遠く[illegible]をまとうて山々が[illegible]な姿を現はした、椰子の林をすぎると[illegible]々とした水田が一面にひらけ[illegible]に[illegible]念もない[illegible]の[illegible]があちこちに[illegible]される、ジャワの住民は[illegible]き者だと一般にいふが土を愛する彼らは夜明け前から[illegible]をとつて田[illegible]に[illegible]くのだ、午前八時チラチャップ[illegible]外のクスギアン驛に着き、車でカナリの並木道を走つてチラチャップに向つた、チラチャップは[illegible]印[illegible]が[illegible]洲へ敗走する唯一の脱出港として[illegible]した[illegible]港であつた[illegible]時[illegible]は[illegible]に近く椰子の木を切り[illegible]つて[illegible]をはり[illegible]を破壊して我が進撃をはばまんとしたのであつたが、坂口部隊の[illegible]はバナナの木を切つて[illegible]を[illegible]め[illegible]民の手をゆるめず疾風の如き猛進を以てたちまち敵の退路を遮斷し又港から脱出を企てた[illegible]敵の[illegible]船も[illegible]の[illegible]によつて一たまりもなく撃沈され、敵の[illegible]出企圖は一瞬にして粉碎されてしまつたのであつた、當時[illegible]一帶は大火災を起し、紅蓮の炎は高く天に沖して[illegible]な光景を呈し住民も大半避難して一時死の街と化したのである、然し今記者が見るこの街は[illegible]戰爭の創痕全く[illegible]し、市民は我が家へ[illegible]つて平和な生活をいとなみ、パッサル（市場）も[illegible]かれて賑つてゐる、[illegible]が[illegible]つて築いたトーチカには草が生え小鳥の巣を作つてゐるのも平和立ち還つたこの頃の風景の一つであるが、しかし市[illegible]は未だ[illegible]ひの[illegible]しさをまざ[illegible]と物語つてゐる、脱出を企て[illegible]された[illegible]船が大きな[illegible]を出して水中にかたむき、或ひは完全に[illegible]かれ、或ひは[illegible]に[illegible]のみを出してあちこちに沈んでゐる、港[illegible]一帶の[illegible]は三月四、五の兩日に[illegible]り間[illegible]なく[illegible]行され[illegible]はまりないものであつたが、港から[illegible]の跡を見ないのは如何に我[illegible]が[illegible]正確な[illegible]によつて攻[illegible]目標を[illegible]らなかつたかを示すもので、市民の[illegible]して今なほ當時の[illegible]を語り[illegible]へてゐる、この港は天然の良港として約百年前チラチャップの町が創設された以前から大小の[illegible]船が[illegible]し、今次欧洲大戰勃發とともに[illegible]蘭印政府はジャワ南岸防備の要港として大[illegible]を行ひ、[illegible]引き込み線を[illegible]し防備施設をいそぎ、避難[illegible]者も一時[illegible]の多きに上つたのである、今[illegible]の中から起ち上つたこの港には復興作業が續けられ[illegible]かな港[illegible]の空に[illegible]てハンマーのひびきが[illegible]の[illegible]と[illegible]交錯して力強い建設の叫びを上げてゐる、沈没[illegible]船の引揚作業も大[illegible]行はれ日を追つて活氣を呈してゐる、この港の西方にプチャガンといふ[illegible]があるが、その附近一帶の[illegible]民は水上生活をなし漁業を[illegible]として平和な生活を送つてゐるがジャワでは珍らしい[illegible]である

哀愁の流刑地ヌサカンバンガン島

チラチャップ港の南に水道をへだてて[illegible]のやうな東西に細長い[illegible]があるがこれはヌサカンバンガン島ち「水上に浮べる島」といふ意味の島でここは昔から[illegible]徒の流[illegible]地として鬼が島のやうに恐れ[illegible]られて來た有名な島である、蘭印政府はジャワは勿論、スマトラ、セレベス、ボルネオ、チモールなどの遠隔の地からも[illegible]徒をここに送り、ジャングルを切り開かせて、奴隷の如く使役し作り上げた[illegible]である、現在は島內[illegible]に[illegible]たる道路が走り、[illegible]と[illegible]るゴム[illegible]に[illegible]れて[illegible]によく[illegible]にも[illegible]の地で、捨てがたい風情がある[illegible]と[illegible]する[illegible]の土堤の前をすぎゴム林を抜けて南岸に出ればそこからは[illegible]たる印度洋が横たはつてゐる海岸一帶に[illegible]でそり立ち、[illegible]が[illegible]をかんで白波くだけ[illegible]は[illegible]に美しい、漁船の姿も見えない[illegible]を前にして波打ち際に建つかの[illegible]刻のトーテンポールの[illegible]（[illegible]除け）が立つてゐる、その[illegible]かた出來榮えは見る者をして[illegible]かすものがあるが[illegible]の人面は[illegible]な感じを抱かせる、その中に一つ、バリ島の女が[illegible]を見て[illegible]を子供を生んだと言ふ意味のものがある、これ等は海の魔除けとして舟が出來上る[illegible]に舟の[illegible]につけられたものである、何れも囚人の作品であるが、その昔、バリから[illegible]ここに[illegible]されて來た[illegible]徒がこの海岸に立つて[illegible]き印度洋を[illegible]め、かつて自分が舟乘りであつた當時を[illegible]し、海を行く船乘[illegible]の[illegible]をいのつて作つたものと言ひ傳へられてゐる、とらはれた身であれ、この美しい人間愛に、この島に來る囚人達は必ずここを訪れて、自分の罪を悔悟するのだといはれてゐる、島[illegible]占領以來、島の治安は完全に確保され、囚人は[illegible]の[illegible]に[illegible]ひながら[illegible]日の作業にいそしんでゐる（つづく）

今夜の番組

（第一放送）▲六・〇〇少國民の時間、シンプン、冒險物語[illegible]▲六・二〇大相撲[illegible]況（[illegible]）▲六・三五[illegible]に[illegible]たる[illegible]▲六・[illegible]〇音樂レコード▲七・二〇國民合唱（[illegible]）▲七・五〇北[illegible]より（[illegible]）▲八・〇〇[illegible]送「[illegible]」（[illegible]）[illegible]他▲[illegible]・〇〇[illegible]ニュース、[illegible]より[illegible]（[illegible]）「[illegible]」他▲一〇・〇〇今日の[illegible]況とニュース（臺北）

（第二放送）▲六・〇〇少國民の時間（第一放送に同じ）▲六・二〇[illegible]（[illegible]）二、[illegible]（山口光一作詞、[illegible]山文吾作曲）三、少國民愛國歌（[illegible]作詞、[illegible]作曲）▲六・三〇[illegible]の時間、奉公運動發足三年目に[illegible]つて島民[illegible]公會中央本部[illegible]▲六・五九時報▲七・〇〇[illegible]ニュース▲七・[illegible]ニュース▲七・四〇[illegible]乙女の唄（[illegible]）▲[illegible]の時間、何[illegible]取引してはいけないでせうか（[illegible]）▲[illegible]・〇〇音樂（レコード）一、[illegible]二、尺八小川のほとり[illegible]三、尺八かもめ[illegible]四、長唄松の緑▲[illegible]新日本音楽、三[illegible]、東京新音楽研究會▲九・二〇國語ニュース、[illegible]

大相撲春場所
七日目取組

【東京電話】大相撲春場所七日目取組

（[illegible]）

大ノ海	立田野	旭
相武山	千[illegible]岩	大平山
新海	鹿島洋	山田山
九州錦	矢[illegible]山	天ノ山
大坂	三根山	昭王山
高津山	照門	玉錦

中入後

小戶ケ岩	常陸海	駿河海
神星	九州錦	東海
大ノ森	一渡	武ノ里
神東山	雷[illegible]山	若瀬川
玉ノ海	増位山	笠置山
相撲川	双見山	清美川
名寄岩	備州山	出羽湊
安藝ノ海	前田山	二瀬川

三國志
(949)
赤壁の巻
吉川英治作
矢野橋村畫

月落つ麥城（二）

飛び去る鳥の群は呼べども返らない。行く水は手をもて招いても振向かない。およそ敗軍を矢ひ、兵の足を、ふたたび軍旅の下に呼び返すことはどんな名將でもできないことである。もう手を拱いて見てゐるしかない。

「——萬事休す」

關羽のすがたは冷い石像のやうに動かなかつた。殘る將士は四、五百に足らない有様だ。しかし、關平と周化とは、

「何とかして活路を見出したいもの」

と、わづかな手勢をまとめては、敵の囲みを奇襲し、漸く一方の血路をひらいて、

「ひとまづ、麥城まで落ちのびませう」

と、關羽を扶けて、西へ走つた。麥城は程近い所にあつた。けれど、そこは今、地名だけに遺つてゐる。前秦時代の古城があるに過ぎない。

もちろん久しく人も住まず、壁も石垣も荒れ崩れてゐる。

「時にとつて立籠れば、これでも金城鐵壁といへないことはない」

ここへ入つて、周化がさう士氣を鼓舞すると、關平もまづ自ら氣を旺に示して、

「さうだとも。未熟な敵兵は悉く落ち失せて、ここに從つた將士こそ節にかけられた眞の大丈夫ばかりである。一騎よく千騎に當る猛卒のみだ。兵力の寡少は問題でない」

と、敢て氣語した。

さはいへ、その關平も周化も內心では悲愁の絶望を充分に覺悟してゐる。ふたりは關羽の前へ出ては、又かう進言した。

「ここから上庸の地はさして遠くありません。上庸の城には劉封、孟達などがをります。救ひを求めて、彼の援軍を呼び、力を新にして、荊州を奪り回すことは十中九まで確信してよいかと思はれますが」

「正にその一策しかない」

關羽は、矢倉へ上つた。そして古城の外をながめた。渺くべし、[illegible]地の山川ことごとく呉の兵と化してゐる。いはゆる蟻も通さぬ包圍の態ひである。しかも[illegible]の士氣は高く呉の旗きも旺んである

關羽は咄みて云つた。

「誰かよくこの重圍を破つて上庸へ使し得よう。出れば忽ち死の運だが」

明くやいなや周化が答へた。

「參つて、それがしがお使を果してみせます。もし能はぬときは、一死あるのみ。すぐ第二の御使者を出して下さい」

その夜、周化は關羽の一書を[illegible]に[illegible]ひこみ、人々に送られて、古城の一門から外へ紛れ出た。

忽ち、暗夜の[illegible]は金鼓、喊聲に[illegible]ひびいた。呉の大將丁奉の部下が早くも見つけて、迫つて來る。それを城中から關平の一隊が出て、さんざんに駈け亂した。周化は漸く死線を[illegible]、彼はあらゆる辛酸をなめ、乞食のやうな姿になつて遂に目的の上庸に行き着いた。そして劉封を訪れるや直ぐ、[illegible]に[illegible]つて仔細を告げた。

「さしもの、關將軍もいまや麥城のうちに、進退全く窮まつてをられる。もし救ひが遅延すれば[illegible]軍は最期を遂げるしかありません。一日、いや一瞬も爭ふときです。すぐ援軍をお向けねがひたい」

と、一滴の水すら口にしないうちに[illegible]した。

劉封は、うなづいた。——が、何と思つたか、

「ともかく孟達に相談してみるから」

と、彼を待たせておいて、別室へ來て孟達を呼びにやつた。

やがて孟達は、そこへ行つて座に[illegible]た。劉封は、[illegible]ろ二人きりで[illegible]を[illegible]し出した。何分この上庸でも今、各地の小戰爭に兵を分散してゐるところであつた。この上にも、荊州の目[illegible]を[illegible]いて遠くへ[illegible]るなどいふことは、この二人にとつて決して好ましい問題ではない。

頑症の
痔と皮膚病に
[illegible]
カミツクス
[illegible]

結核患者に
快報！
努力三十年・茲に完成す
結核專門薬
菌を殺して発發をつける。まさに結核患者にとつての福音の新薬だ。患者は勿論、家族も豫防に服んで下さい。
各地藥店にあり
東京・五反田
星製薬株式會社

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

敵空軍の盲爆で被害
緬甸民衆に救恤資金
バー・モ長官に贈與す

【東京發】政府は敵空軍の盲爆に依り災害を被つたビルマ民衆に對し救恤資金を贈與することとなり、この程バー・モ行政府長官に對してこれを提供したが、右につき情報局では十五日左の如く發表した

情報局發表（一月十五日午後四時三十分）帝國政府は敵空軍の盲爆に依り災害を被れるビルマ民衆に對する救恤資金を今般バー・モ行政府長官に贈與せり

被害者救護に萬全
日本の御厚情に應へん

傳達式後
バーモー長官談

【ラングーン十五日發同盟】帝國政府のビルマ行政府に對する敵被害者救恤金の傳達式は十五日午後零時半〇〇部隊本部で飯田最高指揮官以下列席の上行はれ飯田最高指揮官よりバー・モ長官に對し目錄を交付、バー・モ長官は感激に溢れつつこれを受け大東亞の盟主日本の溫情に限りなき感謝を捧げながら辭去した、式後バー・モ長官は記者團に對し次の如く語つた

私は最高指揮官閣下の御高意を體し速かに適切な施策を樹立して被害者の救護に遺憾なきを期し以て日本政府の御厚情に應へたいと考へます

【ラングーン十五日發同盟】帝國政府が今回ビルマ行政府に對して敵機盲爆被害者の救恤資金として見舞金を贈つたのに對しバー・モ行政府長官は全ビルマ人を代表して十四日午後次の如き聲明を發表した

ビルマに於ける英米空軍の盲爆被害者に對する救濟のため見舞金贈與に與つたことに對し余は深甚なる感謝を表へるものである、ビルマ人は日本がビルマ人と一致協力の精神を保持してゐることを茲に事實を以て示したことに對し特に感謝するであらう、ビルマ人は又これが最高の贈物として日本政府より進んで贈られた事實に深い關心を注ぐであらう、余はこの度の救恤金は飯田ビルマ方面軍最高指揮官閣下の御高意を體して日本政府の御厚意を活かすため在ビルマインド人、華僑にも救恤の手を差伸べる方針である

（寫眞はバー・モ長官）

日本の崇高な行爲
獨立聯盟會長感謝聲明

【ラングーン十五日發同盟】全ビルマ、インド獨立聯盟會長ラサツド氏は帝國政府の敵盲爆被害者救恤金の贈與に對し次の如き聲明を發表した

英國は言語同斷な遣り口を以て一般民衆の生命及び財産のみを喪失せしめるが如き盲爆を行ひ無辜なる災害を蒙つた無辜の市民を救濟するため今回日本帝國政府が救恤金を寄贈せられたるに對し余は茲に在留全インド人を代表し心より感謝を表明するものである

我々は曩にビルマ行政府長官が被爆者の救濟に當りビルマ人、インド人及び華僑を區別せず平等の取扱ひを以て救濟される事を知つて深く喜びに堪へない、余は日本政府の斯くの如き崇高なる行爲が飽ゆるビルマの原住民に感謝を以て迎へられるものと信じて疑はないものである

蔣、華府會議へ出席

【リスボン十五日發同盟】十五日の重慶放送は重慶側筋として蔣介石が米國政府より近くワシントンで開催される會議に出席する旨正式招請を受けたと報じてゐる

帝國恩愛の情體せよ
軍政監談　共に勝利の道驀進

【ラングーン十四日發同盟】英米空軍の盲爆により蒙つたビルマ民衆の被害者に對する帝國政府の救恤金交付に當りビルマ軍政監部では一般現地人に對する左の如き軍政監談を發表した

今回帝國政府がビルマにおける空襲被害者に對し救恤金を交付することになつたことは大東亞の諸民族が相提携して愈々英米勢力に邁進してゐる折柄誠に同慶に堪へない、英米兩國が過去一年間斷なく日本の痛擊を受けた結果今や全く普通人の常識さへ失つて戰爭目的のために足掻いてゐることはビルマ民衆諸君の既に承知の所であらう、殊に民家を爆擊し不幸諸君の同族の內數人かを死傷せしめた非人道ぶりは正しく半世紀以上前にデボー王を印度に拉行したあの無茶な仕打ちと軌を一にするものである、過去幾十年に亙りこのビルマの地で口先だけの正義を唱へされて來たビルマ民衆諸君は今度こそはつきりと敵の正體を見極めなければならぬ、今回帝國政府がビルマの民衆にとつた措置は今後如何なる苦難があらうとも帝國は兄弟民族相助け相戒めして敵を殲滅するまで戰ひ續ける固い決意の一つの現はれであるが、ビルマの民衆諸君は帝國のこの恩愛と慈悲を十分に身に體し今後我々と共に勝利の道を驀進せられたい

ビルマ官民衷心感謝

【ラングーン十五日發同盟】米英空軍の盲爆により被つたビルマ民衆の被害に對し日本政府から多額の見舞金をビルマ行政府に贈るとの發表はかつての支配者の飽くなき暴戾に憤然として對抗し日本への變らざる協力をもつて飽くまで新ビルマ建設に邁進しつつあるビルマ人官民に非常な感激を與へた、ビルマ民衆の被害に對しては曩に飯田最高指揮官よりの見舞金を始めビルマ日本人會よりも溫かい贈物があり又在留邦人からも寄附が寄せられつつあるのでビルマ人は日本人の溫情と眞の共榮圏精神を見ることが出來たと心から感謝を捧げてゐた折から今回又復日本政府がビルマ人の被害に深い同情の手を差し伸べビルマ人官民に對し無言の內に日本が常にビルマの後援になつてゐると言ふ安堵を與へ日本と共に戰ひ抜かうと言ふ彼等の決意を益々固めさせてゐる、現在目標官民協力の下に組織を進めてゐる市民防空計畫組織の救護資金は六十五萬ルピーを超え救護事業に鋭意推進力を加へることとなつた

民家、寺院など盲爆
惡虐非道言語に絕す

【ラングーン十四日發同盟】東亞における戰局敗退となつてゐる米英は卑劣にもビルマ民衆を呼號する一方在印空軍を以て昨年十一月以來數回に亙つて戰略的にビルマを空襲し、場所と手段を選ばぬ非人道極まる盲爆を加へて民衆を殺し寺院を破壞し無辜のビルマ民衆やインド人を殺傷するなど相當の被害を與へビルマ人、インド人を慘殺せしめ益々彼等の敵愾心を煽つてゐるその狀況を見るに昨年十一月二十日夜間ラングーンに襲來した敵機は埠頭附近の民家及び街路を盲爆、無辜のビルマ人及びインド人數百名を死傷せしめた、十二月二十日に來襲した際

し建物は殆ど破壞され折から日曜日の禮拜中であつたインド人回敎徒ら三百五十餘名に及ぶ死傷者を出すの慘事を惹起した、更に同月ラジオにも盲爆を加へ〇〇病院に爆彈を命中し死傷者を出した、同病院上には赤十字のマークが掲げられてゐたにも拘はらず敵は之を爆擊目標とするの無暴を敢てしたのである、又同月二十二日午後敵機數機は二回に亙つてラングーンを盲爆市街に投彈したがその際も一ケ所に密集してゐたインド人等九十四名に直擊彈が落下して全部爆死、その他一般市民に相當の死傷者を出した、かくの如く敵の盲爆による被害は常に無辜の非戰鬪者たる原住民でありこれは明かに敵がゲリラ戰によつて民衆組織を破壞せんとの企圖に出たことを示すものであつて天人共に許さざる暴擧と斷ぜざるを得ない

今村中將に旭日大綬章
定期敍勳の御沙汰

【東京發】畏き邊りでは[illegible]今村信次郎中將に旭日大綬章を授けられた外文武官六千八百六十一名に對し定期敍勳の御沙汰あらせられた、主なるもの次の如くである、尙同日文武官二千七百三十一名に對し敍勳の御沙汰あらせられた

勳一等　今村信次郎
授旭日大綬章
樞密顧問官勳一等　深井英五
陸軍中將勳一等　田中久一
同　竹下義晴
同　鈴木貞次
敍勳一等授瑞寶章（各通）

英國人に復讐せよ
印度獨立聯盟で飛檄

【ラングーン十四日發同盟】十二月二十日ラングーンを空襲した英機は日曜日の禮拜中の回敎寺院を盲爆したがこの暴擧に憤激した全ビルマインド獨立聯盟ではインドの全回敎徒に對し次の如き檄を發した

英國が回敎徒の味方に非ざることは今や明白である、十二月二十日午後英機はラングーンを襲ひ回敎寺院を狙つて爆擊、午後の禮拜中の信者數十名を生埋めにし數十名の死者を出さしめ猛烈な爆風のため回敎徒の血まみれの肉が壁に叩きつけられ悽慘たる光景を呈したのである、英軍は手段を選ばず一般民家寺院を攻擊物にすることが今や敵側の常套手段となつた、回敎徒よ、英國人に復讐せよ、インドから英國を追出せ

外貨處理等十二法案
定例閣議に於て決定

【東京發】政府は既に五十九件の議會提出法律案を決定したが、十五日の定例閣議において更に外貨處理法案以下十二件の法律案を決定した、これで議會提出法律案件數は八十件を突破する見込みである、尙外貨處理法案の要項は午後四時情報局並びに大藏省より發表される、決定せる法律案左の如し

一、外貨處理法案
一、敎育審議特別會計法外二十三法律の改正に關する法律案
一、特別財產資金特別會計法案
一、金融統制特別會計法中改正法律案
一、燃料局特別會計法案
一、南太平洋一元化に伴ふ南洋廳特別會計と他の會計との關係に關する法律案
一、昭和十八年度一般會計歲出の財源に充つるため公債發行に關する法律案
一、[illegible]の保險料國庫負擔金[illegible]法律案
一、日本證券取引所法案
一、陸軍軍法會議法及び海軍軍法會議法中改正法律案
一、農業保險法中改正法律案
[illegible]などの交付及び分擔などに關する法律案

七勅令案を閣議決定

【東京發】十三日の樞密院本會議で可決された師範學校令中改正の件等左記勅令案七件が十五日の定例閣議に附議し正式決定したので近く公布されることとなつた

一、中學校令制定の件
一、大學令中改正の件
一、高等學校令中改正の件
一、專門學校令中改正の件
一、師範教育令中改正の件
一、青年學校令中改正の件
一、昭和十六年勅令第千百五十七號實業學校令等の特例に關する件中改正の件

尙右勅令改正案の內容は午後四時頃文部省から發表される

一切を擧げ戰力增强
決戰議會準備成る

【東京發】大東亞戰爭の決戰段階に對處し戰力の飛躍的增强を中心に國內態勢の強化を推進すべき第八十一回帝國議會の再開は愈々旬日後に迫り、政府並に議會側の諸準備も全く整ひ完璧の布陣を以て戰時議會の運營に邁進することとなつた、卽ち政府側は議會の休會明けに備へ去る十四日貴族院勅選議員五名の補充を一擧に斷行して議會側の折衝連絡關係を強化緊密化せしめたもので衆議院に議席を有する[illegible]が特に森山法制局長官が新たに議席を有するに至つたことは星野書記官長と共に議會側と[illegible]、井野農相と共に今議會劈頭上議場時活躍が期待される、更に十五日の定例閣議にて外貨處理法案外十一件の議會提出案を決定、斯くて既に閣議で決定濟は七十一件、これに去る十四日可決された會計法中改正法律案、陸軍軍法中改正法律案の二件を算へ、また法制改正に伴ふ法律案その他新規出法案も再開までに本極まりとなり政府提出件數は大體八十八件となる筈である、而して右提出案に對する貴衆兩院への振分けは十五日に貴族院へ三十七件、衆議院へ五十一件と決定、再開劈頭の二十一日の日程に組込まれることとなり、更に首相始め外相、藏相の施政方針演說草稿の調整と併せてここに政府の對議會準備は完了した、他方議會側は翼政會を中心に連日對議會策が練られて居り、特に今議會の使命と意義に鑑み一切を擧げて戰力增强、建設に[illegible]を集中する目的で具體案を攻究、國務大臣の施政に對する質問者についてもその人選に慎重なる考慮を拂ひ十五日の議會委員會で[illegible]

國內の結束強化
首相・內政部長と懇談

【東京發】東條首相は全國內政部長會議に出席中の各內政部長を十五日午後四時首相官邸に招いて「お茶の會」を催し首相より國內の結束強化の根本義に基いて行政に當るべき旨の訓話を行つた後各出席者間に懇談を重ね同六時散會した

首相訓話要旨　國內結束の[illegible]は日本の强みの最たるものである、そこで諸君に要望したい事は[illegible]國內結束を强化する事に努力して頂き度い、この喰ふか喰はれるかの大戰爭に直面して國內は眞に日本人の自覺に生き[illegible]戰爭に勝つためには[illegible]

[illegible]

廣く人材を

[illegible]

文相の訓示要旨

【東京發】道府縣內政部長會議に於ける橋田文相の訓示要旨左の如し

申すまでもなく教育は國家の根本であるが、今や擧古未曾有の世局に際會致し大東亞建設の必要を確保するがためには大いに文教を刷新して國本を不拔に培ひ[illegible]一日も速かにその職分の上に發揮せしむることの時に切要なるを痛感するのである、從つて政府は內外情勢の推移と教育に對し國家が不斷に要求するところを深く省察して國防國家各般の施策の遂行上に於ける綜合的要請に立脚し明年度を期して教育の刷新改革を行ふこととしたのである、即ち今回の教育改革は既に昭和十六年四月實施せられた

國民學校令に據る教育の基礎の上に中等教育、高等教育及び師範教育の全般に亙る改革を企圖したものであつてその眼目とするところは凡そ三點である、[illegible]

修業年限は

[illegible]

劃期的學制改革
閣議に附議正式決定

【東京發】師範學校、中等學校、高等學校、大學豫科の修業年限短縮に關する師範學校令等改正は去る十三日樞密院本會議にて全會一致可決を見たので政府は十五日の定例閣議に右關係七勅令を附議正式決定、愈々本年四月より施行することとなつた、而して今回の學制改革の眼目とする所は

一、曩に國民學校令制定に依つて面目を一新した初等教育に照應して中等學校教育、高等學校及び專門學校の教育並に師範教育を通じ「皇國の道に則る國民錬成」を一貫せる教育の目的として明示したこと
一、教育內容を刷新充實すると共にこれを簡素ならしめ教授訓練の全きを期したこと
一、以上に即應して努めて修業年限を短縮し速かに實務に就かしむることを期したこと

の三點に要約することが出來るが更に各學校における改革の主なる點を擧げると左の如くである

中等學校制度について

一、從來の中學校令、高等女學校令、實業學校令を一本に纏め「中等學校令」として皇國中堅國民錬成に主眼を置いた內容充實然も修業年限四ケ年の制度に新生したこと
二、中等學校課程の[illegible]を圖るため從來の第一種、第二種中學制度を廢し、高女も實科高女を廢して等しく高等女學校に統一、實業學校の各種修業年限、入學資格を簡單化したこと
三、中等學校は原則として國定教科書を使用せしめることとしたこと
四、夜間中等學校制度を設け國民學校高等科修了者中の向學心を保護したこと
五、中等學校設置に[illegible]せ文相は地方長官に對し中等學校の設置、廢止、整理を命令し得ることとしたこと

高等學校教育刷新について

一、學科目を系統的に再構成し新たに[illegible]制度を設け修錬に關する[illegible]課程を設定したこと
二、內容充實に依り修業年限は二年となつたこと
三、大學豫科は高校に準じ內容の改革、年限短縮を行つたこと

專門學校教育について

一、實業學校令の廢止に伴ひ實業專門學校を專門學校令中に包含せしめたこと

師範教育について

一、從來の府縣立も等しく官立とし專門學校程度としたこと
二、原則として師範學校內に男子部と女子部を置き一人の學校長の下にこれを統轄せしめる
三、師範學校は國民學校高等科修了者のため豫科を置いた
四、自營制を廢して全生徒に學資を支給することとした
五、高等師範、女高師については現行の儘としたこと

等であるが、今般のこの劃期的學制改革の重點は皇國の道に則る國民錬成に置かれてゐることは勿論であり、然も內容を充實せしめた[illegible]修業年限が著しく短縮された點に重大意義がある、尙これに並行して大學院制度の改革も行はれ

一、大學院は國家目的に即應する學術指導者を養成する
二、在學年限は第一期二年、第二期は二年又は三年とする
三、定員は各官立大學を通じ一期五百人、二期二百五十人
四、入學資格は[illegible]を含む大學卒業者、同資格者の中から銓衡する

こととなるべく當局に於て目下立案準備中である

安田、晝夜を合併
合併條件は對等

【東京發】安田銀行では來る三十日定時總會を開催且つ日本晝夜銀行合併に伴ふ增資及び定款一部變更の件を附議するが、晝夜銀行の合併條件は對等で右により安田銀行は一千五百萬圓（內拂込六百二十五萬圓）を增資して公稱資本金一億六千五百萬圓（內拂込九千九百萬圓）とする

諸重要案件を決定
宣言發表・五中全會終る

【南京十五日發同盟】中國國民黨五中全會第二日は十五日午前十時から國民黨中央黨部において開催、前日の各分科會において討議決定を見た黨務關係三十六件、政治關係五件、軍事關係二件、經濟關係四件、合計四十七件を組上に活潑な討論を進めた結果何れもこれを可決、直ちに大會決議案として政府關係各方面に傳達しこれが速かなる實行を希望することになつた、次いで國民黨中央黨部地方各黨部よりの黨務報告に移り國民黨としては全黨一致して大東亞戰爭目的完遂に邁進、生產增加、治安確立に全力を盡すべき旨の根本方針を決定、最後に參戰に對する國民黨の全幅的支持を表明せる大會宣言文を滿場一致可決、茲に參戰下に邁進すべき國民黨の態度決定のため召集された歷史的五中全會は二日間に亙る全日程を終了午後四時閉會した

十億の勝利へ
大會宣言文要旨

【南京十五日發同盟】純正國民黨五中全會において可決された大會宣言文要旨左の通り

第一、東亞聯盟運動及び新國民運動は我黨の提起したる所にして一は對外的團結に重きを置き一は對內的革新に重きを置く何れも共同の目的に到達すべく同一の根源より出發せるに外ならず、故に參戰時期に入るに當り我が同志は須らく東亞聯盟は大東亞共榮圏建設の理想にして新國民運動は中國が共榮圏建設を擔當するに必要なる資格を鍛成するものなることを知るべし

第二　現邦日本は大東亞戰爭勃發の始め全力をもつて最前線に立ち米英勢力を粉碎したり、中國は大東亞戰爭に協力し得る所以何ぞ、これ本黨同志の深く思考すべきものなり、然し友邦日本は中國の參戰に當り中國をして自力をもつて獨立自主の域に達せしめるよう援助をなしたり、これ大東亞十億民衆の團結をもつて最後の勝利を獲得し東亞共榮圏を實現せしむるために外ならず中國は同生共死の精神に基き力行するのみ、自今中日關係は全く綜合的に[illegible]參戰國を東亞共榮圏の共同建設者となし新秩序の共同創造者となさん

第三　百年以來英米勢力は深く人心に侵入し啻に經濟的搾取のみならず、文化に於ても共に毒しきを流したり、中國の思想は單に具體的に英米の勢力を驅除するのみならず心理的に英米の影響作用を根本的に排除せんとするものなり、我が同志は「攻心を上となす」の旨に基き東亞を分裂せしめんとするものの策を施す能はざらしめ、然る後東亞團結の鞏固を得べし

第四　右三項は原則上の立場なるもその具體方法に至つては戰時體制をとるべく大東亞戰爭の遂行を普及徹底せしめ生產力を增加し治安の保障を强化すべきなり、是行政及び經濟政策の最大方針にして又建軍の最大目的なり、我が同志は精神力を茲に集中すべし

第五　兩國の少數分子は固より頑迷にして悟らざるも其の多數は形勢觀望の際に彷徨しつつあり、我等は頑迷なる少數分子には何等顧慮することなく大多數の者に對しては其の間の存する所を明示し和平國立及び東亞共榮の前途を示し我等に對する信用を增加せしむべし、然らば其の內部の[illegible]も日ならずしてあるべし、全面和平促進の大道の端緒茲にあり

以上の五點を服膺すれば我が同志は[illegible]を求めんとせば先づ自己の組織力及び訓練力を維持すべし、殊に內心を檢察すべし、蓋し[illegible]は內心の純潔なる所に生まる、今日のことは全國の最も赤誠の精神力を擧げ以て國家民族に貢獻するに非ざれば危より安に、亡より存に移す能はず、而して全國の心力を指導統率するものは正に我が黨にあり、同志の責任は正に重大なり、中華民國の存亡は我黨の雙肩に懸る、同志夫れ努めよ

長野縣知事に郡山氏

【東京發】永安前長野縣知事の逝去に伴ふ後任は內務省警保局[illegible]郡山義夫氏と決定十五日左の如く發令された

內務事務官兼內務書記官　郡山義夫
任長野縣知事（一）

[illegible]

萩原汕頭共榮會主事
廣東共榮會へ榮轉

【汕頭支局特電十五日發】汕頭共榮會主事萩原[illegible]氏は此度廣東共榮會主事に榮轉、近く赴任する[illegible]

[illegible]

人事

▲山本[illegible]氏（[illegible]理事）この程上京
▲高江[illegible]二郎氏（[illegible]理事官）此の程內地より歸任
▲中島[illegible]太郎氏（南日本化學工業社長）十五日南部より來北（鐵道ホテル）

神經痛に
此の良藥

神經痛とリウマチスは、まことにお氣の毒な病氣でありますが、この病氣を主治效能とする「猛虎散」とゆふ良藥が、熊本市[illegible]にありますから、同所でお取寄せの方は是非御試服をおすゝめ致します。詳しくは熊本市[illegible]「猛虎散」を附記してお出し下さい。詳細なる神經痛、リウマチスの豫防法をお知らせ致します。（一大四三三）

前崎鉄一編
機械工業ハンドブック
採鑛必携
工業用語解
實用便覽
旋盤作業法
作業法手引
工必携
東京神田區[illegible]
知進社

總長 法學博士 山岡萬之助
（學則要郵券四錢）
日本大學
◆大學豫科・文科（法・文・商・經）理科（工）（東京世田谷區上北澤）
◆專門部・高等師範部（東京神田區三崎町）
◆大阪專門學校　法、商、理各科　大阪府布施市

學長 大倉邦彥
創立 明治二十年
所在 東京市小石川區原町
案內 要郵券四錢
東洋大學
大學豫科　一學年・二學年
專門部（夜）文科・拓殖科
◎願書受付　一月八日ヨリ
◎入學試驗（豫科）三月十九日、廿六日（專門部）三月廿七日
◎特典　高等文ハ中等敎員無試驗檢定

總長 志田鉀太郎
創立 明治十四年
本校 東京神田區駿河臺
豫科 東京杉並區和泉町
明治大學
專門部　法科・政治經濟科・商科・文科・興亞科・女子部
◎願書受付　二月廿二日—三月六日
◎試驗期日　三月十五日ヨリ

總長 小泉嘉章
創立 明治十三年
專修大學
大學豫科（晝・夜）
學部
專門部　經濟科・商科・法科
東京市神田區神保町

學長 法學博士 林頼三郎
東京・神田・駿河臺
中央大學
大學豫科（晝・夜）
試驗期日　三月十一日、十二日
試驗科目　國史、國語、漢文、英語（獨語）
願書受付　自二月一日至二月廿八日
專門部（晝・夜）
試驗期日　三月廿二日（法・經・商科）
願書受付　自二月一日至三月二十日
◎詳細一月十一日頃官報參照（入學要項要郵券四錢）

學長 永田秀次郎
創立 明治卅三年
所在 東京市小石川區茗荷谷町
學則及志願票要郵券四錢
拓殖大學
大學豫科　試驗地　東京、福岡、京城、大連、臺北
專門部　拓殖科・政治科・商科　試驗地　大學豫科ト同ジ

所在 東京麴町區紀尾井町
上智大學
文學部　商學部
入學試驗　三月廿日—廿三日
甲類（入學後獨逸語ヲ第一外國語トスルモノ）
乙類（入學後英語ヲ第一外國語トスルモノ）
專門部　入學試驗　三月廿七日—卅日
商科　甲類（商經科）乙類（新聞科）

學長 椎尾辨匡
所在 東京市豐島區西巢鴨
市電 下板橋終點大正大學前
省線 巢鴨、大塚、池袋、板橋、王子ヨリ何レモ數丁
大正大學
大學豫科　中學四年修了又ハ中學卒業
專門部　佛敎科・高等師範科
特典　高等文ハ中等敎員無試驗檢定、高等文官豫備試驗免除
學風
入學試驗　三月廿五日、三月廿六日　詳細郵券四錢

學長 農學博士 佐藤寬次
創立 明治二十四年
東京農業大學
大學豫科
專門部（農學科・農藝化學科・農業拓殖科・農業經濟科・造園科）
所在地　東京・澁谷・常盤松
入學案內　要郵券四錢

社說

增稅による財政の堅實化

十八年度豫算に見る特色

一

昭和十八年度國庫豫算案は既に閣議決定を見議會上程の日を待つ手順にあるが、一般會計豫算案に見ると歲出入各九十九億五千三百萬圓で、本年度より十一億餘萬圓の增加である。歲出は臨時軍事費特別會計繰入金又は國債整理基金特別會計に繰入する分が八億六千萬、其他文治關係の一般行政費が三億五千萬圓を各增加してをり、之に對する財源調達の歲入は如何と見ると經常部六十四億五千二百萬圓臨時部三十五億四千一百萬圓（內公債金十二億七千四百萬圓、專賣益金繰入十九億三千八百萬圓、特別會計繰入二億三千萬圓）を豫定してバランスを立ててゐる。而して明年度歲入豫算中注目すべきは租稅收入が經常臨時部を通じ約七十億[illegible]の多きに達し、本年度より約[illegible]億を增加されたが赤字公債の發行を減少せしめ、長期戰財政への健全化を計られてゐる點に政府の誠意と努力の跡が認められねばならない。

二

[illegible]豫算に於ても歲入に特別會計豫算の形成に經常部三億三千[illegible]萬圓、臨時部一億一千四百萬圓を計上本年度に比し經常部に於て約八千[illegible]萬圓、臨時部に於て約三千[illegible]萬圓の增加を見而して夫れら增加の財源は本島經濟力の膨脹に伴ふ租稅の自然增收と共に中央に倣ひ間接稅を中心とする新稅創設共稅を以て行ふ事になつてゐる。租稅新[illegible]間接稅增徵の結果は物價の昂騰を促し延いて國民生活に壓迫を加へる虞も避けがたいが間接稅を中心とする增稅は[illegible]

本年度より十億圓を增加、國費の大約九分即ち三分の一以上を占めてゐることは財政の苦難を[illegible]してゐる點で注目すべく、[illegible]共に國民的負擔を[illegible]と共に注目する特色[illegible]租稅的な收入たる租稅收入によつて[illegible]されるもので、國民は政府當局の努力を多とし、決戰財政遂行に協力を與ふるものである

いづれにしても明年度豫算が一般會計の場合、歲入中租稅收入が[illegible]

日佛印經濟第三年度實行協定

交涉は順調に進捗

【サイゴン十五日發同盟】去る十一日の東山ドクー會談により[illegible]された日佛印經濟第三年度交涉並びに日佛印新關係を規定する諸交涉は順調な進捗を見てゐるが既に十五日午前十一時（現地時間）總督官邸において東山、ドクー第二回會談が行はれた、更にドクー總督は十七日オツエル交通次長[illegible]と共に南部佛印視察の上二十日頃サイゴンに戾り更に交涉を繼續し二十六日頃ハノイに歸着の豫定で會談の會談はハノイにおいて續行されることとなつた

佛印臺灣鄉人の活躍

【西貢特派員發】多年島民[illegible]に擇ばれた人材[illegible]を生かし南方[illegible]として南進陣の一翼となり臺灣鄉人の眞面目を發揮する目的の下に臺灣に於ける商人八社會と呼應して佛印在住の臺灣關係者に依り北部に於てはハノイを中心に社會を、南部に於てはサイゴン、ショロンを中心に結成を見たが[illegible]は去る十七日午前十時よりショロンの[illegible]に於て[illegible]の下に創立總會を開催、會規約を審議の後役員として[illegible]周金傳氏、[illegible]中[illegible]氏外理事五名を決定した、[illegible]會の現會員數は七十六名である

華僑送金復活の歡びを語る

黃朝煥氏

【[illegible]】[illegible]特派員黃朝煥氏は支那事變[illegible]送金問題に對する華僑送金事務[illegible]に付き大の如く語つた

事變前に於ける南部[illegible]の送金は大體廈門、[illegible]、金門の占める金額は二三萬圓を突破して居たそれが一昨年末以來杜絕して居た處日本政府關係當局の英斷に因り今度送金[illegible]とは最も關係の深い馬來、昭南、ジヤワ比島よりの華僑送金が復活を見る事となり寧ろ重要な手紙できて一日千秋の思ひで待つて居た僑眷であるから其の喜びは大變なものである、然し最近の僑眷は戰時生活意識は著しく現はれて居り且つ國民政府の受取を信頼に堅く[illegible]の除を加へて居るから今後は送金にのみ依存する事な[illegible]

戰時荷役增强

具體化を協議

戰時港灣荷役力[illegible]を[illegible]せ合の具體化を[illegible]する交通局關係者[illegible]の打ち合せ會は十五日午前九時より[illegible]に於て[illegible]長、佐々[illegible]、[illegible]部長、山下[illegible]、丸岡[illegible]、[illegible]部[illegible]各[illegible]出席、[illegible]に[illegible]打ち合せを遂げたが午後は引き[illegible]

く自治の決を[illegible]するやうになるだらう

[illegible]地方の風水害の復舊資金約二百十二萬五千圓、[illegible]資金其他生產資金等を合せると相當巨額にのぼる[illegible]であるから[illegible]に對し[illegible]では全力を注いで協力を[illegible]下四百[illegible]に[illegible]して突破[illegible]の新記錄を[illegible]した

定期貯金	三一、三七一	
通知貯金	一二三九	
特別當座貯金	一〇、四二九	
定期積立貯金	五、三八三	
別途貯金	五〇一	
滿期定額貯金	七〇九	
合計	四九、〇七七	

產組聯業績

[illegible]產業組合聯合會は創立以來[illegible]に[illegible]の一途を[illegible]を[illegible]してゐる、貯金は[illegible]五千萬圓突破の四千九百七十萬圓の巨額に上り近日中に五千萬圓を突破、貸付金は[illegible]で巨額の數字を示してゐないが、五百[illegible]

大甲溪電源開發の技術陣容成る

國土局では大甲溪電源開發の技術的完璧を期するためこの國策に[illegible]"大甲溪電源開發委員會"を設置左の如く[illegible]六名、[illegible]五名を[illegible]命同委員會をして[illegible]に[illegible]る事とすることとなつた

▲委員　三[illegible]（[illegible]）坂本[illegible]（同）石[illegible]（[illegible]）北川幸三郎（國土局道路課長）山本[illegible]（[illegible]）中村元（[illegible]）

▲幹事　山下[illegible]（[illegible]）大田周夫（國土局土木課長）[illegible]原民次（同土木課技師）[illegible]（同道路課技師）[illegible]

[illegible]中三郎、坂本、中村の三氏は何れも內地から招聘された土木技術の權威者で三浦氏は前國土局[illegible]局長、坂本氏は[illegible]國土局[illegible]である、また中村氏は特に[illegible]道の權威者として知られてゐる、中村氏は[illegible]大甲溪の[illegible]にも[illegible]いてあり三浦、坂本兩氏は今月下旬來臺、直ちに[illegible]を行ふ筈である、[illegible]は現地[illegible]して[illegible]の下に[illegible]を決定するが、これを[illegible]一步を踏み出す[illegible]である

稻熱病根絕期し

種籾消毒督勵を行ふ

【新竹電話】[illegible]の不[illegible]からこれで新竹州では昭和十八年度[illegible]期作の水稻から稻熱病[illegible]を期すべく[illegible]消毒[illegible]を行ふことゝなつた、[illegible]ち十五日から[illegible]日間を[illegible]消毒[illegible]として[illegible]ことゝなつたもので、[illegible]一班は[illegible]、第二班は[illegible]、第三班は[illegible]に分れ[illegible]一班は十五日の[illegible]に出發した、なほ新竹州下の[illegible]付面積は七萬五千[illegible]、その[illegible]中[illegible]は二萬五千甲步、殘る五千[illegible]甲步は全部[illegible]で、臺中六十五號を[illegible]して來たが、今後は臺中一五〇號一本に[illegible]する方針で、臺中一五〇號は[illegible]の[illegible]に比し成熟早く、稻熱病に對しても抵抗力が強く、[illegible]に良好であるので[illegible]として[illegible]を行ふことになつた譯である

臺拓のコンポンチヤム棉花農場

佛印棉花

輝く將來性……

臺灣產技術の南進

【[illegible]】チベット高原[illegible]の水を含んだメコンの[illegible]大河が北緯十三度の[illegible]と別れて南部佛印カンボヂヤの平原に突入するとトンレサップの湖を自然の貯水池とする[illegible]な地勢と相俟つて、そこには[illegible]大なる沖積土が[illegible]する三百萬町步の米田を形成するが同時に此の千古の大河が齎す[illegible]的[illegible]に培はれるカンボヂヤ棉の[illegible]された耕作を忘れてはならない

クラチエからプノンペンに至る約三百[illegible]の流域から[illegible]される棉花は全佛印[illegible]の七割以上を占め同地[illegible]は[illegible]なる[illegible]として[illegible]大な將來を約束されてゐる、何んとなれば

佛印

[illegible]年の[illegible]は一九四二年の[illegible]萬五・六萬ピクルを以てしては[illegible]の廿七、八萬ピクルを充たすに足らずして[illegible]一二萬ピクルを輸入に待つ現狀にあり、この[illegible]に[illegible]する[illegible]相當な增產の必要を痛感するので[illegible]たことに外ならぬ

それ

[illegible]印度支那[illegible]會社に依り十七年度よりクラチエ及びコンポンチヤムに於て棉作の試作に[illegible]始されたことである、それは臺灣に於ける[illegible]棉の南方[illegible]であり、又臺灣に於て育成された[illegible]の[illegible]が遙く海を越え日本の[illegible]として佛印に[illegible]めて根を下したことに外ならぬ

あつて、一方この事は我が共榮圈[illegible]に伴ふ棉花の必要[illegible]と合するものと云へやう、今や[illegible]の[illegible]に乘り出したのと相俟つて自然[illegible]府[illegible]が[illegible]に[illegible]され[illegible]大な將來をかけられたカンボヂヤの棉作を[illegible]めると[illegible]として特に注目すべきことがあるは

[illegible]中[illegible]の山口[illegible]人氏を[illegible]用し[illegible]技術の發展に向つて[illegible]しい發足を

米英擊滅！

國民が特に直觀せんとしつつある國家の危機は或る意味に於て戰前に[illegible]した夫れ以上に、深刻且つ一層[illegible]せられてゐることを身近に[illegible]得と[illegible]せられる、それは戰前の米英の[illegible]知な危機が[illegible]なるものに明確に把握して來たからでなく、又立直つた米英の[illegible]その呼號する天文學的數字の[illegible]を怒れるからでもない、勿論その[illegible]の立直りと大なる生產能力に對しては[illegible]も[illegible]することを許されないが、それ以上に恐れるものは我々同胞の一部に、今次時局認識の缺如と精神弛緩の[illegible]が[illegible]されるからである、私が[illegible]に[illegible]或る[illegible]に於て[illegible]と言つたのはこの點を指すのである

◇

過去一ケ年の戰果を回顧してみると、それは我々にこの戰爭が今にも終止符を打つのではないかと言ふ錯覺をさへ起させる程、實に神速であり華々しかつた、そして大東亞戰爭の[illegible]なる字義の持つ地域的[illegible]は、[illegible]の面的[illegible]大に伴ひ一層[illegible]に[illegible]するかの如き感を抱かせたのであるが、我々は斷る錯覺の虜となつてはならぬ

◇

今日までの戰爭は、單に我々を包圍する敵國の前衞基地を[illegible]ぶしたといふ段階に到達したばかりである、また第二[illegible]陣地たる印度、濠洲、アラスカが殘されてゐる、この外廓を突き破つて、更にパナマを越へ、加奈陀を押へなければ、敵本土を攻略することは不可能である、實に前途容易ならざる[illegible]が[illegible]はつてゐる

大東亞建設の聖業はそれの持つ聖なる字義的地域內の敵性抹消に依つてのみ完成せらるべきもので[illegible]なく、敵本土に城下の盟ひをさせてこそ完遂せらるべきを我々は深く銘記しなければならないと思ふ

◇

敵は地球上から日本を抹殺せよと絕叫してゐる、米英を抹殺しなければ、こちらが抹殺せらるるのである、手段にしたのでは第二の大東亞戰爭の危險が[illegible]する、絕對に再起を許さぬまで、徹底的に叩きのめさねば將來を見ないのが今次大東亞戰爭の持つ特異的性格であらう、我々の進むべき途は[illegible]殺するか、抹殺されるかこの二途の一を選ぶより外許されてゐない

◇

「國家は永遠の容器である、永遠の生命はこの永遠の容器あつて始めて維持される」とは獨逸哲人フイヒテの名言であり「抽象的人間というものはない、日本人たる自覺に於て始めて我々は存在に[illegible]することを想像するだに恐怖を覺える

◇

我々の生命は國家のものであり國家は我々の生命である、國家亡くして何で我々の生命があり得やう、我々の幸福も、繁榮も國家の存在を前提として始めて考へられるのである、今や國家は危急の重大なる關頭に立ちその存亡を賭けて全生命を[illegible]戰爭をしてゐる、然るにも拘はらず苟しくも時局に不[illegible]的なるにせよ、我々の同胞に一人でもこの危局を[illegible]しようとせず又之に耳を掩ひ、目を[illegible]ぐ者があるとすれば、それは正しく日本人の假面を被つた動物である、

人間である」とは我が[illegible]田文相の至言である、共に含蓄に富む東西の警句と言はねばならぬ永遠の容器なくしてこれを[illegible]べき永遠の生命はあり得ない、國家を亡くして國民が有り得るとすれば、それは人間以下の動物にしか過ぎない、我々は我々及我々の子孫が、この動物的存在に墮落することを想像するだに恐怖を覺える

途はたゞ一つ

排擊＝時局認識の缺如＝精神弛緩の潛在

大東亞戰爭は既に滿一ケ年を經過した、この間凡有る階層を通じて、國家の[illegible]に至るまで非常時の認識と之に對應する國民の覺悟とは[illegible]せられ[illegible]けて來た、そして國民の一人一人に我々の勝利に於ける文字通りの[illegible]手一投足が、どんな役割を果せられてゐるか、前線に於ける一片の[illegible]、甲板に於ける一本の苗、工場に於ける一枚の紙、臺所に於ける一握の米、その一つの生[illegible]、その一つの消費が、戰爭完遂に如何に有機的[illegible]を持つてゐるかを十分知悉させられて來た筈である、殊に最早や今日は誰彼と批判の時期ではない、昭和十八年こそ、この國家の要請に[illegible]へて只管直[illegible]敢行の年である

◇

官と言はず、民と言はず一切の[illegible]し[illegible]して言ふ、昭和十八年こそ生產[illegible]を[illegible]して實[illegible]の年であると、若し我々の同胞に一人でもこの[illegible]を[illegible]む者があれば好ましいことではないが文句なしに、日本人たる特權を[illegible]し、[illegible]人として[illegible]へらるべき[illegible]を甘受させねばならぬほかないと思ふ

我は敵を抹殺する前に、先づ身近にあるこの動物的存在を抹殺せねばならない

◇

大東亞戰爭は[illegible]に[illegible]行詰りを捨て、現[illegible]、[illegible]に[illegible]はるることなく、名聞、私[illegible]を[illegible]て一丸となり維新の意氣を以て、[illegible]に米英打倒に邁進を集注せねばならぬ、男は[illegible]を[illegible]け、女はモンペをはけ、そして[illegible]と[illegible]をかざつても、生產增强と消費[illegible]正に實踐躬行の年が來たのである

斯くしてこそ、大東亞[illegible]の[illegible]と[illegible]し我々の父、兄弟、子の[illegible]き[illegible]に[illegible]ゆる所以であり又この[illegible]を促進するものと信ずる

【皇奉中央委員松本晄吉氏談】

新高都市開發株式應募殺到

【臺中電話】六百萬臺民の[illegible]を[illegible]にしつゝある新高都市開發株式會社の株式公募四百八十萬圓は大部分を臺中州下在住の[illegible]で[illegible]その一部百九十萬圓を臺中州下在住の會社、個人の投資によることとし[illegible]各市長、郡守に一任、[illegible]申込みを[illegible]中のところ各市郡とも相當の人氣を[illegible]し就中臺中市の[illegible]は二千[illegible]、株金十萬圓に對し申込み株數は一萬株で五千株二十五萬圓の好成績を示し州民の新高都市建設に對する關心を反映するものとしてその前途を期待されてゐる

貯蓄增强率先垂範

國民貯蓄の增强に一億總[illegible]、着々たる成果を擧げつつあるが[illegible]國民のあと一息の努力が要請されてゐる秋、官公署の職員は近く支給される戰時勤勞手當の一部貯蓄を斷行左記の割合を以て率先垂範[illegible]貯蓄の實踐に邁進することになつた

戰時勤勞手當支給額の一部貯蓄

勅任官……………支給額の五割相當額以上

奏任官……同……三割相當額以上

判任官……同……二割相當額以上

雇傭員……同……一割相當額以上

廈門の"米英宣戰市民大會"

宣戰一周年を迎へた去る十一日廈門[illegible]公園[illegible]で開かれた同大會の盛況で全市を擧げて[illegible]の決意を[illegible]と化した

重慶軍の崩潰近し

無爲無能・連續暴露の蔣介石

成都脫出の飛行將校語る

【南京支局發】「[illegible]」[illegible]に次ぐ[illegible]で[illegible]ニュースがあつた[illegible]軍飛行將校は[illegible]した許りでなく大東亞[illegible]のため[illegible]をしてゐる我が方の[illegible]の[illegible]と

◇…この飛行將校は[illegible]生れ[illegible]で之と云ひ昭和十三年[illegible]に[illegible]して空軍に[illegible]し[illegible]十[illegible]官に[illegible]に入

◇…[illegible]たる大東亞戰爭[illegible]一年[illegible]に[illegible]はもう[illegible]で[illegible]と[illegible]を[illegible]しても[illegible]なる[illegible]の[illegible]を[illegible]てゐるが[illegible]

◇…大東亞戰爭の日本の[illegible]と大[illegible]に[illegible]の[illegible]を[illegible]ようと思つても[illegible]の主な[illegible]は[illegible]つてゐるので各所で大なるセンセイションを[illegible]

◇…中國[illegible]に[illegible]しては何れも[illegible]してゐる、それが[illegible]に[illegible]ビルマ作戰に於ける[illegible]の[illegible]一[illegible]ビルマ[illegible]の[illegible]を[illegible]

◇…ビルマ・ルートを失つた[illegible]

◇…最近は米英の[illegible]力に[illegible]

郵船臺北支店長異動

【東京電話】日本郵船では今回小樽支店長[illegible]民の[illegible]を[illegible]左の如し

臺北支店長[illegible]　中村[illegible]

ボンベイ支店長　[illegible]

臺灣帽子[illegible]

[illegible]

米穀納入組合長會議

組合の運營其他を協議

【新竹電話】新竹州では十五日午前十時から[illegible]に於て[illegible]穀[illegible]合長[illegible]を[illegible]して[illegible]を開催、[illegible]、大山[illegible]、[illegible]、財[illegible]に[illegible]

貯蓄達成協議

【新竹電話】新竹州では十五日[illegible]

今日の話題

アラカン人

印緬國境附近で[illegible]する英印軍に對する[illegible]の反[illegible]は[illegible]そのものである、[illegible]印緬國境の住民アラカン族は[illegible]英國[illegible]で、[illegible]の[illegible]にもめげず、英米打倒を誓つてゐるとあるが、そのアラカン人とは

ビルマの現住民は山地族と平地族に大別することが出來、山地族に屬する北東ビルマに住む山地族にはカレン、シャン、チン、カチン族等があり、これに對して平地族にはいはゆるビルマに住む平地族にはビルマ人はじめターレン、タボヤン人及びアラカン人が含まれる

アラカン人は、普通印緬國境に近いアラカン海岸に住む種族と、アラカン山脈中に住むチン族を混同して一概にアラカン人と呼ばれることもある

しかし正しくは海岸に住む平地族がアラカン人で山脈中に住むチン族は地名からアラカン人と云はれるに至つたものである

アラカン人の人口は約五十萬といはれ性質は溫和で、ビルマ人と同一の文化を持ち、[illegible]ビルマ人と同様に佛教を信仰し、[illegible]を[illegible]み、小舟をあやつつて[illegible]に出かけることもある、ビルマ人が[illegible]に[illegible]して[illegible]を[illegible]て[illegible]しいビルマの建設に努めつつあるとき、ビルマ人と血のつながりをもつアラカン人もまた[illegible]への信頼と[illegible]をよせてゐるのである

商況（十五日）

株式

諸株一段不勢示す

兜町前場況

【東京電話】[illegible]

兜町後場況

【東京電話】[illegible]

東京短期後場

東京長期後場

大阪短期後場

[illegible]

不動産金融

日本勸業銀行

臺北・臺中・臺南・高雄

公債株式賣買

株式投資案內

申込次第贈呈

臺北市京町四ノ四

村岡證券

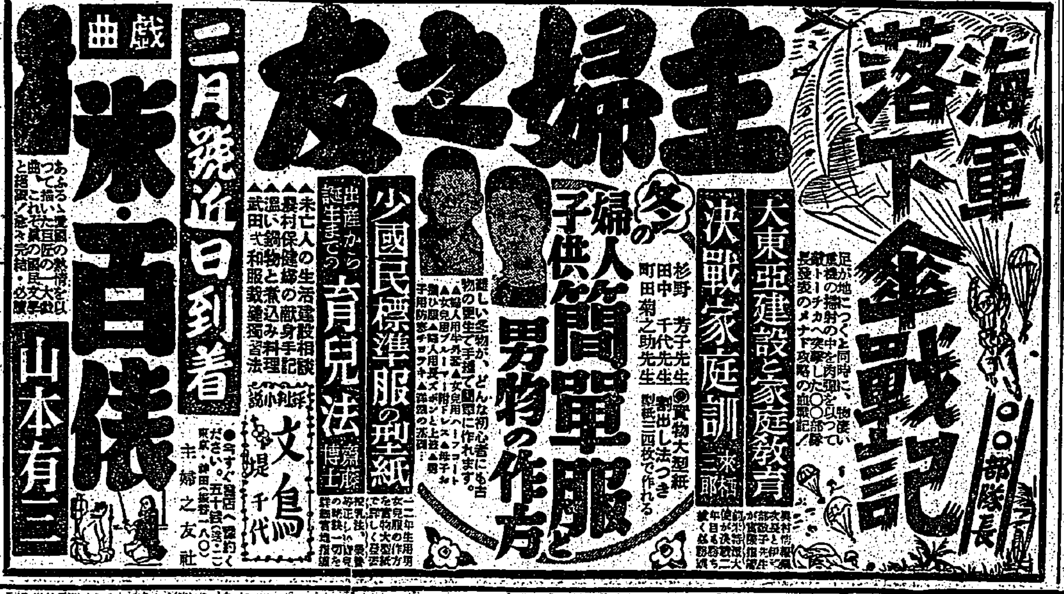
電話　四四六　四四九〇　五五二一番

冬の健康に　かぜ引かぬよう

[illegible]

[illegible]に缺かさず……

ハリバ



主婦之友

二月號近日到着

戲曲　米・百俵　山本有三

海軍落下傘戰記　○○部隊長

大東亞建設と家庭教育　決戰家庭訓　[illegible]

冬の婦人子供簡單服と男物の作方

少國民標準服の型紙

出産から誕生までの育兒法

文鳥　千代

主婦之友社

さあ二年目も勝ち拔くぞ

勝ち拔くために電力と電球を大切に

トウ　マツダランプ

25. 30. 40. 60 ワット

强精强腦　DA臟器ホルモン綜合劑

オオコンリオン

强壯弱体强化

若さと元氣

抗病力の强化！

强精强腦への理想的製劑としてのオオコンリオンの服用は全身の抵抗力が高まつて風邪にも負けず常に靑年時代の若さと元氣を保持していつも元氣でハキハキ明朗生活が出來ます。

定價一、五〇　三、〇〇　八、五〇　二三、〇〇

弱體强化劑

DA有機カルシウム綜合劑

コンリオン

姙婦用・小兒用

かぜ引き易い人、腺病質兒、發育期の兒童、體力を酷使する人、產前產後の婦人常に病弱の人特に大量のADとカルシウムの補給を必要とする人々に絕好の保健劑。

定價一、〇〇　一、八五　五、〇〇

學校奉仕品あり

東京・日本橋

日本水產理研

增血强壯

高齡者優遇の御沙汰

山梨大將以下十氏に傳達

【東京電】畏き邊りでは例年紀元節に當り百歳、既官、華族の高齡者御優遇の、畏き思召をもつて、宮中杖を御下賜され、天皇陛下の御沙汰あらせられるが、十五日今年八十歳の高齡を迎へた山梨半造大將に對し天皇陛下の御沙汰あらせられ、同日午前十一時宮中杖を御下賜される御沙汰あらせられ、亦高倉永則子爵以下九名の華族高齡者に對し宮中東溜の間において松平宮相を經て傳達された

正三位勳一等功二級　山梨半造

老年に付特旨を以つて宮中杖並に酒肴料金一封下賜（各通）

八十歳の高齡に付御紋附木杯一個並に酒肴料金一封下賜

千葉　高倉永則　男爵　高千穗宣麿　[illegible]

伯爵　松平　[illegible]　同　林　博太郎　同　柳原　義光　子爵　前田　利定　同　西大路吉光　男爵　高木　喜寛

七十歳の高齡に付御紋附木杯並酒肴料金一封下賜（各通）

近く第一回後期生入所

二十二日　晴れの入所式擧行

臺灣一家の感激も新に陸軍特別志願兵訓練所生の第一回後期生の入所は二十日と決定したがその榮えある入所式は二十二日午前十時から訓練所講堂にて盛大に擧行する

當日は長谷川總督、安藤軍司令官以下知名士參列の下で式次第は次の如くである

一、開會の辭

一、宮城遙拜

一、國歌合唱

一、祈　念

一、教育勅語奉讀

一、所長式辭

一、宣　誓

一、總督訓示

一、來賓祝辭

一、閉　式

兄弟轡を並べ志願

“若櫻”へと湧き上る本島青年の志願兵熱は今や最高潮に達し受付數日でもう十萬を算へる志願者に上つた、[illegible]兵志願の中に數々の美談がある、これは兄弟三人、二人がうち揃つて臺北市兵事課に出頭志願手續を終つた[illegible]である、それは臺北市下奎府町二丁目四〇番地[illegible]の三兄弟および[illegible]

檢査受付者約一萬名

臺北市の志願兵熱漸次高調せん

臺北市の十五日における志願兵志願者受付數は四百三十七名であつた、なほ市では日新、老松、[illegible]三國民學校に市役所出張所を設け志願せんとする若人の便宜を計り十五日を以て終了したが同期間に身體檢査を受たものは九千四百六十三名の多數に上つたので出足の遲い[illegible]の志願兵熱は漸次高調に向くものと期待されてゐる

國府の參戰を祝し將兵の武運を祈願

【花蓮港電話】花蓮港[illegible]では十六日午後六時[illegible]神社前に於て代表者五十餘名參列し國府對[illegible]

貯蓄美談入選作決る

[illegible]米英宣戰布告記念祭を擧行し[illegible]

一、家庭常會班共[illegible]貯蓄[illegible]

三等　島民[illegible]

佳作　貯蓄從軍手帳の設置

グラフ式による貯蓄增進方法　上山　和子

[illegible]

一、貯蓄標語（應募作十七篇）

佳作　貯蓄する心　秋水　[illegible]

平和なる心　久保寺　泉

中國青年赤誠を披瀝志願

【花蓮港電話】志願熱[illegible]

後七日御修法結願

眞言宗蓮生觀善大僧正御衣奉還

【東京電】國威宣揚、[illegible]を祈念する眞言宗の後七日御修法は[illegible]

感激に晴れの日待つ

[illegible]

短期錬成

【臺南電話】[illegible]

傷痍軍人會總裁に朝香宮殿下奉戴

紀元の佳節　嚴に奉戴式擧行

【東京電】財團法人大日本傷痍軍人會では豫て全國會員の熱烈な希望として同會總裁に朝香大將宮殿下を奉戴すべくその御願ひ申上げてゐたがこの程畏くも殿下には御聽許の御沙汰あらせられ十五日御附武官より正式に發表された、奉戴式は來月十一日紀元の佳節を卜して九段軍人會館において嚴粛に擧行される豫定である

小泉厚相謹話

[illegible]

植田會長謹話

[illegible]

長城の護り固し（北支軍報道部撮影）

床し皇軍勇士の溫情

英軍無名戰士の墓標建立

【印緬國境〇〇基地十五日發同盟】去る十二月二十二日印緬國境〇〇の我が第一線に來襲した敵ハリケーン戰闘機六機を邀擊し、[illegible]

地上

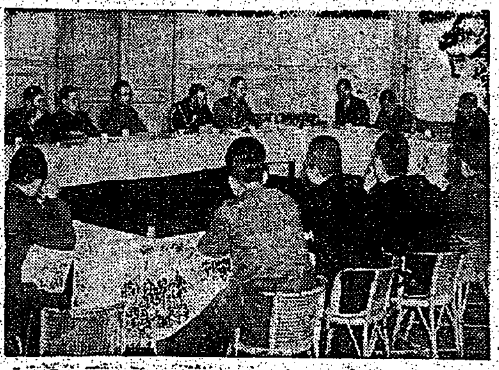
[illegible]

反復

[illegible]

各地

[illegible]



各層指導者に聽く防空臺灣の重要性

きのふ本社主催で座談會開催

[illegible]

佛印派遣交換學生

臺灣から二青年選拔さる

【東京電】[illegible]

學園も決戰態勢化

軍國の要請に逞しく武裝

【東京電】大東亞戰爭下、大東亞共榮圏建設に是非必要な教國の[illegible]

國民

[illegible]

中等

[illegible]

根本

[illegible]

全國學徒スキー大會

きのふ小樽潮見臺に展開

【小樽電】[illegible]

NTN

東洋ベアリング

大阪・東京・名古屋

大相撲春場所

[illegible]

オ一放送

[illegible]

オ二放送

[illegible]

心臟

是非！心力

心力本舗

[illegible]

勝つための貯蓄

出張取扱

十八日 新竹市 商工獎勵館

十九日 臺中市

二十日 市民館

恩給金庫

恩給・年金ノ貸付・寄託

會葬御禮

池田繁子

會葬御禮

小林ヒデ子

會葬御禮

志村民治

親戚一同

貯蓄だ

笑顏だ

六百萬

銘酒 忠勇

納入代理店 桑田商店

臺北市本町

建築界之福音來る

タール製ルーヒング

價格低廉・使用簡單

屋根瓦並にスレートの代用品

タール・ルーヒング

臺灣總販賣元

富士商會

代表者 柳川敏三郎

本店 基隆市

出張所 臺北市

院名改正廣告

今般病院名ヲ左記ノ通改稱セラレ候ニ付一般ニ廣告ス

（新）臺北赤十字病院

（舊稱）日本赤十字臺灣支部病院

內科 小兒科

四方醫院

齒科

合志齒科醫院

合志信雄

一月十六日（土）

一月十七日（日）

臺南秋競馬

主催 臺南州畜產會

建築界の福音

壁ノ友

新製品現る

シツクヒ、上塗、中塗、刷毛塗は…壁の友が引受ました。

水に溶かして其まま塗るのですから極く簡單で

腐つても剝げない、汚れは拭き取れて仕上りは優美で強靱、安い時代品です。

製造元 野田商行

工事請負 周萬發

ポプラ印

イソキと米糊

高級 萬年筆用 各種

筆記用

高級 文房糊卓上用

工業用

發賣元

近藤商會

鶴嘴に打ち込む〝魂〟
尊し・鑿岩機持つ手に光る黑い汗
誓詞を胸に默々と敢闘

【新竹電話】米英擊滅に一塊りでも餘計に掘出さねばならぬ石炭！今あらゆる炭礦は增産へ增産へと雄々しき敢闘譜を奏でてゐるが、[illegible]內の炭山もその例に洩れず黑ダイヤに挑む採炭戰士の力強い敢闘振りは[illegible]公[illegible]の大旆の下に堆高い美談の山を築きあげてゐる記者は一等一級の[illegible]炭山として既にその存在を知られてゐる新竹州大溪郡[illegible]炭礦の現地を訪ねて三千五百尺の地底に[illegible]になつて默々と必勝の[illegible]を掘る戰士の姿を[illegible]如何にして[illegible]の[illegible]下に血みどろの[illegible]を展開しつゝあるかを知つた、云ふまでもなく今や[illegible]の炭山といふ炭山は內地と相呼應しいづれも[illegible]公[illegible]を組織して[illegible]に[illegible]し第一線皇軍將兵にも似た[illegible]がつゞけられてゐる、中でも[illegible]公隊といはれてゐるこの[illegible]山支部では堂々たる[illegible]の編成を行ひ支部長として[illegible]長陣頭に立ち隊長、小隊長、班長、[illegible]といふ一糸亂れぬ[illegible]隊形を整へて入坑から出坑までの[illegible]を徹底させてゐる　それもこの[illegible]社長[illegible]氏が[illegible]代表者[illegible]に出席し既にも[illegible]ふの光榮に浴して以來、同支部の[illegible]戰士の活躍は一段と拍車をかけ輝かしい[illegible]に明けた[illegible]第一番の元旦もたつた一日休[illegible]したのみで最大の作業能力を[illegible]揮し豫定の出炭に高らかな凱歌をあげたのであつた、[illegible]坑一塊の石炭が直ちに[illegible]の戰果にひびく[illegible]力增强の[illegible]であることを[illegible]しく[illegible]つて必勝の信念の下に文字通り[illegible]としてつゞけてゐるのだ、坑外は[illegible]いが坑內は地底に近づくほど暖くなつて來て[illegible]で行くともう汗びつしよりである、內はトンネルの[illegible]のやうな地下水が所々に[illegible]つてゐる、ダダダッ……[illegible]連珠のやうな物凄い音をたてる鑿岩機にとり組んで黑光りのする[illegible]尺の岩[illegible]に挑みかかつてゐる[illegible]手の[illegible]には[illegible]になつた汗が[illegible]れてゐる、ガチユマルの[illegible]を掘る戰士、トロに[illegible]込んで[illegible]のところまで[illegible]する戰士等の夫々の持場に[illegible]けてゐる[illegible]の姿は頭の下る思ひであつた、[illegible]戰士の勞務時間は一番方午前八時から午後四時まで二番方午後四時から同十二時、三番方は午前一時から同八時までとなつて居り坑內のトロは一日中[illegible]つゞけてゐる、然し一日の始まりは一番方とされてゐるので午前八時の入坑前[illegible]七時二十分から每朝朝禮が行はれるのであるがこれは[illegible]としたもので、國民儀禮と山の[illegible]社[illegible]が終ると[illegible]長の訓示につゞいてこの山で作つた次の誓詞を朗唱するのである

一つ　飽く迄も必勝の信念持つて炭山を守らん

一つ　山も[illegible]持身の[illegible]で[illegible]公の誠を盡さん

一つ　私心を去り[illegible]家本位の[illegible]念を[illegible]して石炭の增産に[illegible]身せん

一つ　[illegible]つて皇軍將兵の[illegible]に[illegible]へ決戰勤務を遂行せん

一つ　國[illegible]を[illegible]しての[illegible]業戰士の本分を自覺し最後まで頑張らん

これが終つて工作隊、採工隊は直ちに[illegible]が行はれ[illegible]長以下各班[illegible]にインクラインに分乘して坑口に向つて一[illegible]一日の無事を山の神樣に祈つて〝[illegible]〟の號令に依つて勇ましく入坑するのである、感心させられたことは最近この炭山でも[illegible]の家族である婦人の[illegible]がグツト[illegible]えたことで、現在では五十名の婦人[illegible]が[illegible]戰士に混つて[illegible]にも坑內で[illegible]（[illegible]）に從事する者も二[illegible]あり、[illegible]炭山を[illegible]してゐるがその他[illegible]人[illegible]に主として水[illegible]に[illegible]となつて活躍してゐる、何と云つても山の[illegible]みは[illegible]であるので、[illegible]は[illegible]の[illegible]向上に[illegible]する一方、[illegible]を通して[illegible]めてゐるので[illegible]に至つては[illegible]少の一途を[illegible]り[illegible]する[illegible]戰士の[illegible]しい[illegible]能力はうんと向上して昨年の[illegible]から比較すると[illegible]以上の[illegible]よりである中には十年以上の[illegible]としてこの[illegible]から表彰された（ボタステ）水[illegible]の[illegible]氏[illegible]さん（[illegible]）は[illegible]金をつくり國防献金した美談があり、また[illegible]一番を迎へた第一回の大詔奉戴日である一月八日の[illegible]公[illegible]の[illegible]合では支部の[illegible]が今まで一[illegible]に[illegible]し三[illegible]の國[illegible]を一[illegible]に引き上げ三[illegible]を[illegible]することを申合せて八日から[illegible]行することになつた、また山の神社の奉仕作業も家族が[illegible]で奉仕し二十日[illegible]の豫定の工[illegible]を[illegible]一週間で完成させたことで、その他に[illegible]れた美談は[illegible]りなく積み上げられてゐる、この[illegible]に炭山は[illegible]公に明け[illegible]れ[illegible]々として勝ち拔く[illegible]ひを[illegible]けてゐる、[illegible]能力の[illegible]的に加へて[illegible]の炭山は[illegible]持久化に[illegible]め凡ゆる[illegible]を克服して米英[illegible]の戰力[illegible]をめざして增産へ增産へのひたむきな[illegible]がつゞけられてゐるのである、吾等はこの逞しい炭山の[illegible]戰士に[illegible]する[illegible]を[illegible]れてはならない

（寫眞は入坑前の朝禮）

激增の一途を驀ら
志願兵熱いまや最高潮

【臺南電話】志願兵受付開始以來[illegible]旗の下に馳せ參ずる若人の熱情はいよいよたぎり立ち榮えある若櫻の一人たらんと沸き立つ志願熱は[illegible]され受付五日間の臺南州志願者數は三萬二千四百五十名に達し昨年の約六倍の飛躍振りで五日間を通して每日平均六千餘名の若人が志願に殺到してゐるが比較的志願者の多い臺南市、北門、曾文、新營の各市郡は[illegible]の關係で[illegible]數の[illegible]郡の[illegible]に殺到するものと豫想されてゐる

臺中　【臺中電話】十三日臺中州下各市郡の志願兵志願受付數は六千四百七十八名で累計三萬二千九百八十五名となつた

朴子　【朴子電話】〝醜の御楯〟にと榮光に輝く志願兵を目ざして待機する東石郡下の適齡青年は十三日に至つて志願者が漸く高潮し當日のみで七百七十三名の出願を見、累計千二百四十名に達したので今後の志願數は急テンポに激增するものと見られてゐる

高雄　【高雄電話】十四日における高雄州下志願兵志願者數は高雄市二一、屛東市三八六、岡山郡三六八、[illegible]八三六、旗山郡四〇二（高砂族三）屛東郡九三二（高砂族二〇八）潮州郡一、一三八（高砂族一五〇）東港郡四九六、恒春郡七八八（高砂族九六）計五、〇三七（高砂族五六七）で五日間の累計は四萬を突破して四〇、七六一名となつた

員林　【員林電話】員林郡における志願兵志願熱は日と共に白熱化し十三日現在で四千五百二十三名に達した、中にも同郡大村庄下の出足が極めて順調、タッタ三日間で七百四十一名に上り、二水庄の八十七名は最も低調である

嘉義　【嘉義電話】嘉義市の十四日における志願兵受付數は一千六百十四名で累計六千七百二十三名となつたが嘉義郡は同日九百六十五名の受付數で合計二千七百一名となつた

因みに一月の常會は郡守[illegible]してゐる、[illegible]鈴木課長、大坂、是立[illegible]席の下に左記の事項を附議した

一、[illegible]事項

（イ）小麥、[illegible]、肥培管理狀況

（ロ）水稻作付面積[illegible]狀況

二、指示事項

（イ）米[illegible]增產方策に就て

1、自給肥料の增產、2、[illegible]式[illegible]苗代の普及、3、深耕、4、正條密植

（ロ）肥料配給に就て、（ハ）小麥[illegible]

三、[illegible]項

（イ）水稻正條密植、[illegible]の件、（ロ）甘藷[illegible]の[illegible]、（ハ）[illegible]、（ニ）其他

指導員常會日設定
北斗の部落農業組合が

【北斗電話】[illegible]として[illegible]北斗郡は昭和十六年[illegible]郡守の英斷により一[illegible]指導機關として[illegible]四人の部落農業組合を設立し各組合毎に指導技術員の配置を行ひ、夫々第一線に於て活躍してゐるが同[illegible]では決戰下におけるこの[illegible]と生[illegible]完遂を期すべく發展ある大東亞戰爭の第二年の新春を迎へ、毎月の一、二兩日を[illegible]組合指導員常會日と定め、一日は北斗公會堂に（北斗、田尾、埤頭、[illegible]）指導員數六四名、街庄職員五名、二日は北斗[illegible]に（二林、沙山、竹塘、大城四街庄指導員數八四名、街庄職員六名夫々出席の下に常會を開催し、各指導員の知識交換と技術及び識[illegible]の向上を計り一般[illegible]指導の徹底を期し

令旨奉讀式
日婦嘉義市支會

【嘉義電話】日婦嘉義市支會では十五日午後二時より嘉義高女講堂に於て中谷市長夫人以下各組長以上參列の下皇后陛下より御下賜の令旨奉讀式を施行した

飛躍する就學率
四九%から八四%へ
臺南

【臺南電話】十八年度よりの義務敎育實施に[illegible]臺南州では同[illegible]に備へる就學兒童の收容に完璧を期して二[illegible]國民學校に二百四十一[illegible]級の增級を[illegible]り州下の就學率を昨年の八二%より八四%に引上げる事になるが、臺南州の就學率は義務敎育施行第一年昭和十五年は四九、三四%の率で既に十八年度の實施に八十%に達せしめるため協力就學歩合の向上を圖つた結果、十六年度には六九、五三%十七年度には八二%に飛躍、實施第一年目が八四%に達し[illegible]の努力が拂ひられたものである、一方州民[illegible]に[illegible]多大の努力を拂ひ[illegible]に上る國語不解者一掃のため特設國語講習所二百六十四、[illegible]州費補助の國語所一千二百國所、[illegible]國語講習所たる幼兒國語所一千五十六箇所の普及施設を夫々擴充強化すべく新年度夫々所要經費の計上をみた

〝銃後戰線〟を激勵
福島郡守が陣頭に指揮

【朴子電話】決戰第二年を迎へ[illegible]東石郡守は[illegible]郡の[illegible]を[illegible]せしむべく連日[illegible]課長を[illegible]ひ各種作物の[illegible]に陣頭指揮に立ち或は[illegible]の[illegible]を[illegible]を巡つて激勵を與へる等その[illegible]振りは郡民を感激せしめてゐる

最後まで頑張る
〝白衣の天使〟健氣な便り

【新竹電話】目下〇〇で白衣の天使として活躍してゐる新竹州立病院看護婦出身[illegible]沈氏[illegible]さんは出身者一同に代りこの程[illegible]の[illegible]官宛左の如き手紙を寄せよく新竹州女子青年の意氣を示して感激させてゐる

前略　南冥ケ濱もお寒くなりましたでせう。當地も[illegible]寒くなりました、部隊名も變り一班り姉さん達は〇〇へ轉〇しましたので前に居ての仕事でございます、お便りも出來なくて申譯ございません、ほんとに淋しくなりました、でも決して姉さんたちが居らなくても私達は皆る[illegible]はありません、もつともつと協力して必ず目的完遂に向ふ覺悟で最後まで頑張つてどんな苦難でもなしとげてみせます　後略

〝奉贊會〟が音頭とり
臺中神社　列格奉祝行事決る

【臺中電話】臺中神社列格に對する百四十五萬州民の喜びは凝つて奉贊會となり州知事を會長に[illegible]郡市長、松岡臺灣新聞社長を副會長に以下各顧問、評議員、幹事、[illegible]員百餘名を委囑、祭典、奉祝の諸準備を進めてゐるが、奉祝催し物は左の如く具體案が決定された

△奉納相撲　二十九日午前九時から公園常設土俵にて（午前中國民學校兒童、午後中等學校生徒、一般選手）

△奉納演藝會　二十九日午後七時から公園演舞場にて臺中つぼみ會及び本島舞踊團出演

△臺中市藝演會　二十九日午後一時公園演舞場、市郡有志出演

△活動寫眞　二十九、三十兩日新富座

△奉納大弓會　三十日神社外苑

△奉納生花展列會　二十八、二十九、三十日、[illegible]

九、三十日、新[illegible]講堂

△奉納武道大會　三十日午後一時から武德殿にて州下同好者及び學校代表出場

△奉納銃劍術大會　三十日午後一時から神社外苑にて、各中等學校生徒千名が出場

△軟式野球大會　三十日午後一時から三十一日にかけ外苑球場にて州下各市郡代表出場

△卓球大會　三十一日午前十時から付上國民學校にて

△軟式庭球大會　三十一日午前九時から一中コートにて學生を除く一般同好者

△籠球大會　三十一日午前九時から商業學校にて、州下男女同好者出場

△弓道大會　三十一日午前八時半外苑弓道場集合、一般男女有志男女中等學校、實業補習學校、青年學校各生徒、男女青年團各代表出場

△奉納能樂　二十九日午後七時から明治國民學校講堂にて

△時局展覽會

△大音樂會（日時場所未定）

尚二十九日は學校御輿、三十日は町內御輿の渡御が行はれる筈

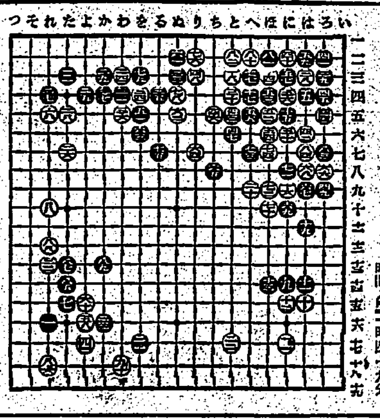
赤誠の献金

軍司令部（十四日）

國防献金　一〇〇圓[illegible]部[illegible]公會[illegible]員一同（米英に對し宣戰布告に感激して）五〇圓六九錢臺北市山本永枝、一二圓臺北市末廣町第七分區三十二班子供班一同、一〇圓臺北市王金成、九圓九五錢臺北市[illegible]山町陳順士、七二錢臺北市金城康治、四五錢臺北市石館秀子、一〇圓北斗郡北斗街張協銘、二〇圓臺南市[illegible]株式會社[illegible]西灣（每月献金）、九圓五五錢[illegible]市田上[illegible]、五二圓一三錢[illegible]市田町鈴木光江外六名、計二三三圓八〇錢

恤兵金　一三五圓四一錢大日本婦人會臺北市支[illegible]會長[illegible]村[illegible]（第四回慰問袋の荷造運搬奉仕費）、二五圓五六錢臺北市[illegible]町[illegible]、一〇圓臺北市[illegible]、一〇圓臺北市[illegible]、[illegible]一同、一〇圓臺北市[illegible]、一〇圓臺北市[illegible]、[illegible]

献品　慰問袋[illegible]九七袋（一百圓）彰化[illegible]、[illegible]、[illegible]國民學校五年[illegible]、同[illegible]一二袋臺北市[illegible]



藤澤六段　篠原六段　[illegible]戰

【第九回】

先番　六段　藤澤庫之助

六段　篠原正美

持時間各十時間（四目半コミ出し）

消費時間（白）一時五十八分（黑）一時四十九分

白の沈着な手

評　七段　小野田千代太郎

◇白七〇で「リノ八」と出ても、右の白がおさまつてゐない點に危險があるので、かく七六として此一團の見活を圖つたのである

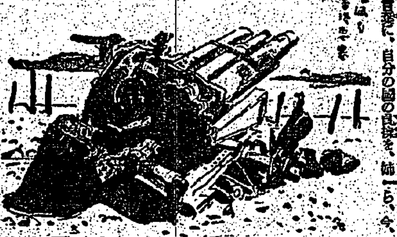
◇黑八三のツケは適當な時機である、この手が遅れると白に「いノ八」と下られて打込みになつてしまふ

◇白九十は沈着な良い手で、何でもないやうであて、なかく打てない手である、この九十の手で「わノ十四」として黑の兩石を切斷して打ちたい氣もするが、これは黑「かノ十七」白「かノ十八」のとき黑「リノ十七」と打つてゐられて、思ふほどの攻めが利かないのである

大相撲春場所星取表

（[illegible]）

東方	成績	西方	成績
照國	[illegible]	羽黑山	[illegible]
相模川	[illegible]	名寄岩	[illegible]
安藝ノ海	[illegible]	双葉山	[illegible]
出羽湊	[illegible]	前田山	[illegible]
豐島	[illegible]	佐賀ノ花	[illegible]
清美川	[illegible]	二瀬川	[illegible]
備州山	[illegible]	輝昇	[illegible]
笠置山	[illegible]	玉ノ海	[illegible]
九州山	[illegible]	柏戶	[illegible]
櫻錦	[illegible]	九ケ錦	[illegible]
鹿島洋	[illegible]	神風	[illegible]
増位山	[illegible]	松浦潟	[illegible]
松ノ里	[illegible]	双見山	[illegible]
大和錦	[illegible]	若湊	[illegible]
八方山	[illegible]	鶴ケ嶺	[illegible]
肥州山	[illegible]	青葉山	[illegible]
隆ノ里	[illegible]	小松山	[illegible]
綾昇	[illegible]	若瀨川	[illegible]
武ノ里	[illegible]	[illegible]甲	[illegible]
十三錦	[illegible]	若[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	大ノ森	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]川	[illegible]
駿河海	[illegible]	磐石	[illegible]
汐ノ海	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一ノ濱	[illegible]	[illegible]	[illegible]
休場　七〇		休場　六七	



大いなる祭
(38)

中野實作　三芳悌吉畫

白旗（十四）

金井は沈んだ聲でつゞけた。

「姉を話さなければなりませんが僕の姉がまだ朝鮮の京城にゐた時熱心な基督敎信者になつたのです今思へば、それが米英の謀略だつたのですが、姉は、すつかりその宗敎を通して、世界中で、米英が一番えらい國だと思ひ込んでしまつたのです日本人より、アメリカ人やイギリス人の方が、民族的に優秀だと信じてしまつたのです。甘い、悲しい言葉に、自分の國の民族を、姉は[illegible]

や朝鮮が、どんなに苦しんだことでせう。私の父は、日韓合併の時に李家に仕へてゐて、[illegible]ながら力添へをした人ですから、そのくるしみは、あなたの想像にまかせます父はいつも、朝鮮は日本の右の手支那は日本の左の手だと云つてゐるのです。父は名譽や地位が欲しさに、日韓合併に贊成をしたのではありません。ロシアの東洋侵略が、まざくと目に見えたからなのです。日本があの日露戰爭に敗れたら、今、朝鮮はどうなつてゐるか。いや、朝鮮ばかりぢやあない。滿洲も、支那も、この東亞の土は、ロシヤ、イギリス、アメリカのために滅茶々々に蹂躙されてしまつてゐるのだ。朝鮮でもなんでもない。アフリカの黑ン坊を見ろ！印度を見ろ！安南人を見ろ、インドネシアを見ろ。どこに、國民としての誇りがあるか。全亞細亞のために、日本が戰つて來た尊い犧牲が見えないが、日韓合併の歷史は、中略二千萬百萬の民族が亞細亞のために蹶起した歷史の日本……。父はいつも私にさう云つて、今も、地位も名譽もすてて、田舍に引んでゐるのです。英子さん、聞いて下さい。父こそ半島の先覺者なのです。敗戰を賭して、合併に努力したのです。その父の娘が、抗日映畫の女優をやつてゐるのです。私は父の心中を思ふと……」

金井は涙ぐんで、

「私は、姉に會つて懇談を施さうと思つて、上海から井關さんに頼んでここへ連れて來てもらつたのです。いよく香港へ渡らうとしたら、今度の戰爭です。父は、私に、金家の面目にかけて、姉を說き伏せろ。もし聞かなかつたら、最後は、お前の手でやれと云ひました。英子さん。私は、いつそ姉が國家にでも歸つて死んでくれればいいと思つてゐます……」

丁度その時分、英國の牙城香港は、勇敢なる日本軍の皇軍に、斷末魔の喘ぎに喘いでゐるのだつた。

また嬉かな調子にもどり、

「そして、姉は、京城に支店のあつたある英國人の會社の支配人と結婚して、上海へ行きました。しかし、ほんとを云ひますと、それまでは、私も父も母も、姉は幸福な結婚をしたとばかり思つてゐたのです。ところが、それから間もなく英國人から資本の出てゐる上海の映畫會社で、反日抗日の映畫に主演してゐる花形女優が、金目蘭だと姉の名が出たときには、どんなにびつくりしたでせう。私ははじめてそんなことを信じませんでした。が、それは悲しい事實だつたのです。重慶政府は得たりとばかり、朝鮮生れの日本人女優が、抗日映畫に出演するくらゐ日本政府のやり方が間違つてゐるのだと宣傳しました。日本の國策を知らない支那の民衆は、重慶に踊らされてゐるとも知らず、やんやと姉に拍手を送りました。金目蘭の名前が有名になればなるほど、父は[illegible]

產業戰士を慰問　【高雄電話】決戰下產業に挺身する勤勞戰士の勞を犒ひ且つ之を激勵する爲高雄市職業紹介所では市內國民學校の上級生兒童より慰問文及び繪畫を募集することとなつた締切は二月五日迄で多數の應募を希望してゐる

健民生活に

ライオン齒磨

大切な齒は良い齒磨で

94

日本放送協會監修

ラジオ科學

一月號　九十五錢

放送　三十錢　一月號

[illegible]の元兇アメリカ…[illegible]米國の[illegible]…[illegible]・バタアンの思ひ出…滿洲ジャワの[illegible]

ラジオ受信機入門

東京市芝區田村町一ノ四　日本放送出版協會

（中等校てに店書國全）

今日の映畫と演藝

大世界　15日ヨリ21日　●日本ニユース　●勝利への出發　●[illegible]

台劇　15日ヨリ21日　●日本ニユース　●[illegible]南の風

新世界　15日ヨリ17日　●日本ニユース　●[illegible]　●アルプス[illegible]

芳乃館　15日ヨリ17日　●日本ニユース　●[illegible]

芳明館　14日ヨリ17日　●待つてゐた男　●[illegible]

城南映劇　15日ヨリ21日　●日本ニユース　●勝利への出發

萬華劇場　11日ヨリ18日　菊[illegible]劇團

台北合同興業會社

今日の東寶國際館　[illegible]

基隆の映畫

基隆劇場　十三日より十七日まで　1、日本ニユース　2、北洋日記　3、八[illegible]女の[illegible]

世界館　十四日より十六日まで　1、日本ニユース　2、河船に生きる　8、高原の月

旭劇場　十四日より十六日まで　1、日本ニユース　2、[illegible]　3、[illegible]　4、[illegible]

高砂劇場　十五日より十六日まで　1、文化[illegible]　2、日本ニユース　3、[illegible]　4、[illegible]

水性　油性　固煉

カセイン　ガンマー

總發賣元　臺北市[illegible]町二三番地　[illegible]商店

電話　五〇八八・四〇二〇番

昭和十八年

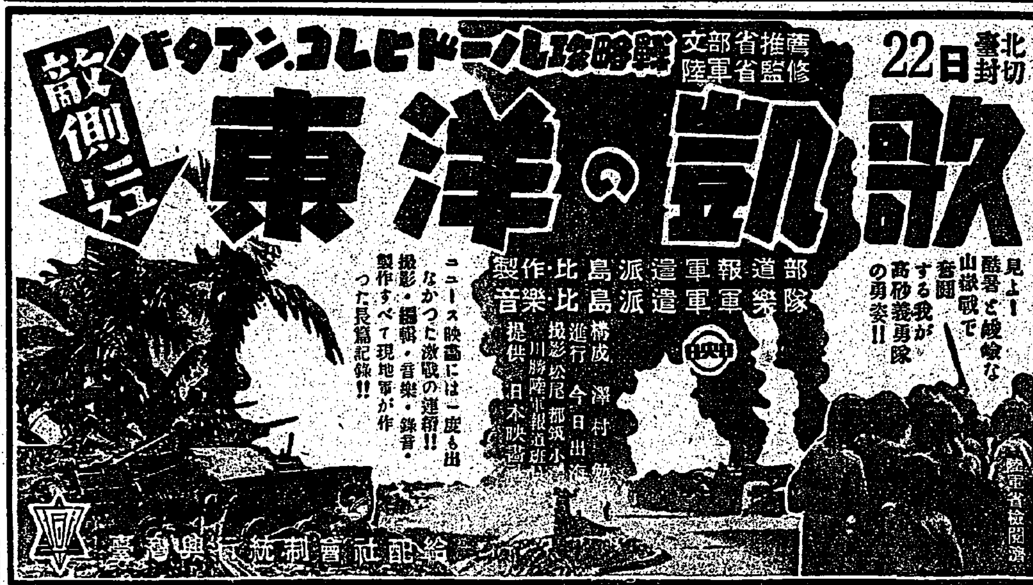
一億一心　[illegible]で奉公

一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
3	7	7	4	2	6	4	1	5	3	7	5
10	14	14	11	9	13	11	8	12	10	14	12
17	21	21	18	16	20	18	15	19	17	21	19
24	28	28	25	23	27	25	22	26	24	28	26
31				30			29		31		

大谷金庫　佐光金庫　吉中金庫　[illegible]金庫

代理店　長谷川商行

臺北市本町三ノ二六　電話[illegible]



文部省推薦
陸軍省監修
バタアン・コレヒドール攻略戰
22日
北臺封切
敵前上陸
東洋の凱歌
見よ！峻險な山嶽戰で奮闘する我が高砂義勇隊の勇姿!!
部隊　報道部
軍樂隊　比島派遣軍
製作　比島派遣軍
音樂　比島派遣軍
構成　澤村勉
進行　今日出海
撮影　松尾郁
協力　小川勝陸軍報道班
提供　日本映畫社
ニユース映畫には一度も出なかつた激戰の連續!!
撮影・編輯・音樂・錄音・製作すべて現地軍が作つた長篇記錄!!
臺灣興行統制會社配給

中風・高血壓・神經痛は

血の濁りが原因

血液を淨化して循環を良くすれば治る

[illegible]

今津研究所　[illegible]

病毒で困る人へ

私の治療藥を教へます

[illegible]

貸金業經營講座

[illegible]

公認

レディス洋裁學院

[illegible]

院長　中村[illegible]代子

[illegible]

中野高等無線電信學校

行け南方共榮圈へ大陸へ

大日本海外青年會

[illegible]

東洋音樂學校

男女生徒募集

[illegible]

內科　小兒科　（入院設備）　天野醫院　[illegible]　天野一男

耳鼻咽喉科　天野醫院　[illegible]　電話四四〇三番

耳鼻咽喉科　（入院完備）　藏田醫院　京町二丁目[illegible]　電話[illegible]　藏田[illegible]人

產科　婦人科　（入院完備）　福田醫院　大和町[illegible]　電話六九五四番　福田[illegible]

皮膚科　泌尿器科　（入院完備）　千本醫院　京町一ノ五[illegible]　電話六〇八四番　千本信次

內科　（入院設備）　秋山內科醫院　京町一丁目　電話五九九八番　秋山[illegible]夫

耳鼻咽喉科　（入院完備）　菅村醫院　[illegible]　電話八〇七一番

齒科　青木齒科醫院　[illegible]　電話六七九五番

皮膚科　泌尿器科　（入院完備）　三[illegible]丸醫院　大和町一丁目[illegible]　電話[illegible]

眼科　（入院設備）　塚原眼科醫院　[illegible]　電話四三三番　塚原[illegible]夫

外科　（入院完備）　菅沼醫院　本町三丁目一番地　電話二九五四番

外科　（入院完備）　菅野醫院　本町三丁目[illegible]　電話二五〇六番　菅野[illegible]夫

眼科　（入院設備）　牟田口醫院　[illegible]　電話七九六七番　牟田口[illegible]

產科　婦人科　（入院設備）　鶴田醫院　[illegible]　電話四一九七番

皮膚科　外科　泌尿器科　一番ケ瀨醫院　本町二丁目[illegible]　電話二七八九番

小兒科　（入院設備）　武藤醫院　[illegible]　電話四八五九番

小兒科　石井小兒科醫院　新起町二丁目　[illegible]　石井[illegible]男

內科　小兒科　富田醫院　[illegible]　電話二六五〇番　富田[illegible]

小兒科　信生堂醫院　[illegible]　電話五五五六番

齒科　平川齒科醫院　[illegible]　平川[illegible]

耳鼻咽喉科　（入院完備）　宮島醫院　本町二ノ九　電話五六六四番

耳鼻咽喉科　（入院設備）　早田醫院　本町二丁目一番地　電話四四四五番　早田[illegible]

內科　眼科　森醫院　新起町三丁目[illegible]　電話五[illegible]八番　森[illegible]三郎